

新規・重点事業

令和元年度は、第4次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく前期実施計画の最終年度となりました。本計画を踏まえ、令和元年度新規・重点事業として、以下の事項を具体的に推進いたしました。

1. 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

(1) 【重点】地域福祉推進委員会の運営支援

10か所の地域福祉推進委員会では、継続して住民主体の運営支援を実施し、地域包括支援センターをはじめ、企業や大学、専門機関等とつなぎ、より充実した活動ができるように支援した。

一ノ宮地区では、4丁目のサロンと連携を進め、地域福祉推進委員会の名称を「まち育てネットワーク関戸」から「まち育てネットワーク関・一」へ変更し、関戸地区と一ノ宮地区で一体的に推進する体制を作った。

東寺方地区では自治会、老人クラブ、民生委員等と住民懇談会を開催し、地域課題の共有や情報交換を行った。和田地区では、大栗川かるがも館の運営協議会と連携し福祉なんでも相談を開催し、地域ニーズの把握に努めた。

(2) 【重点】各エリア別活動計画の策定

地域福祉コーディネーターが活動して把握した、住民ニーズや地域課題をコミュニティエリアごとにまとめた。地域福祉推進委員会の世話人を中心に検討し、共通したフォーマットで「エリア別活動計画」を作成した。計画では各地域福祉推進委員会の活動の方向性や各エリアの活動を可視化した。

(3) 【重点】コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援

「自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金」の区分1（福祉活動への取り組み）の申請があった団体（百草団地、鶴牧地区、聖ヶ丘地区、永山地区）については、助成金の活用も含め、地域福祉コーディネーターが要配慮者の見守りや支えあいの仕組み（見守りやゴミ出しなどの生活支援）づくりを支援した。

その他、落合地区では団地内で住民懇談会を開催し、新規サロンの立ち上げを支援した。豊ヶ丘地区では、昨年度から継続して災害時要配慮者支援の伴走支援を実施するなど、自治会や住宅管理組合ごとに住民同士の支えあいの仕組みづくりに取り組んだ。

また、自治会・住宅管理組合向けに「支えあいのハンドブック」を作成し、生活支援の仕組みづくりの手順や、市内の先行事例まとめ、より小地域での地域福祉活動の推進に活用していく。

(4) 【重点】活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）

豊ヶ丘地区では、団地の空き店舗を活用したコミュニティースペース（豊ヶ丘

健幸つながるひろば)の立ち上げにUR都市機構、居宅介護支援事業者、市と協議・連携し調整を進めた。住民主体での運営を目指しながら、地域福祉コーディネーターとしても、より身近なところで地域住民の相談対応ができるよう活用していく。地域福祉コーディネーターの拠点については、継続して市と協議していく。

2. ボランティア、地域活動者の発掘・育成

(1)【重点】ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成

① 地域活動者の発掘、住民参加の促進

ア 地域出前事業として地域のニーズに合わせた出前講座を企画・実施し、若い世代からシニア世代等幅広い世代に対して、ボランティア・地域活動に関する普及・啓発、福祉教育、市民学習の機会を提供した(15件)。今後も、地域との連携の下、地域活動者の掘り起こしに力を入れていく。

イ 多摩社協の役員や評議員経験者など地域福祉に理解のある方々が、引き続き地域福祉活動を一緒に推進してもらうための多摩社協活動協力員制度に、民生委員経験者などにも登録いただき26名の方々が活動した。

また、たすけあい有償活動については、今年度の登録協力員数は149名(うち新規登録30名)であった。(3月末日現在)

協力員登録説明会は全市向けに1回実施した。その他に協力員の少ないエリア(百草団地、諏訪地区、和田地区)に関しては、自治会・住宅管理組合やコミュニティセンターと連携し小地域で説明会を開催し、事業の啓発とともに協力員の新規登録につながった。また、社協内で連携し、老人福祉センターにて有償活動合同説明会を実施した。

② 地域活動等参加促進プログラムの充実

夏のボランティア体験では、小中高の学校関係、高齢者団体・施設等への事業紹介や連携を通じ、参加者の大幅な増加につながった(令和元年度体験者446人。3年間で282人増)。

市民活動講座で「車イス操作指導法講座」(全2回。延べ参加者51人)「昔あそびボランティア講座」(全3回のうち、2回開催。延べ参加者21人)を開催し、地域で活動する新たなボランティアを発掘・育成した。

シニア向けに、ボランティアや地域活動を通じて健康寿命を延ばし、これまで培った知識や経験を活かしながら、豊かなセカンドライフを送るためのきっかけを見つけていただくために、「シニアのためのボランティア・地域活動ハンドブック」を発行。また、介護予防ボランティアポイント事業では、毎月説明会を開催するなど活動登録者を増やし、高齢者施設だけでなく子ども食堂や児童施設など活動の幅を広げた(今年度登録者数78人。全ボランティアポイント登録者数477人)。

③ 活動者へのフォローアップ及びスキルアップ支援

平成30年度傾聴ボランティア養成講座受講生を対象に「傾聴ボランティアフォローアップ講座」を開催(参加者20名)するなど、活動者に対して継続

した活動へつなげていくための講座を実施した。

3. 企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

(1) 【重点】多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築

① 市内社会福祉法人連携事業の推進

全3回の「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」を通じて、法人の連携による地域での公益的な取組について相互に意見交換を行った。また、地域福祉コーディネーター・民生委員より地域の状況や課題に関する情報収集を行い、新たな取組として学校等における福祉啓発活動への協力支援を連絡会にて担っていくことを定めた。

昨年度からの取組としては、各法人が開催するイベント等でフードドライブの受付窓口を設置、集められた総量およそ350kgの食品類を市内9カ所の子ども食堂運営団体やフードバンク団体へ提供するほか、11法人施設での車椅子無料貸出や2つの市民活動団体への出前講座実施等の取組を継続して行った。

② 市内大学・企業連携事業の推進

- ・大学や企業等がもつノウハウをボランティアや地域活動につなげるために、大学や企業等との連携の「場」の設置を目指し、11月に「多摩地域企業等情報交換の集い」を開催（参加団体：20団体、27人）し、「食」をテーマにフードバンクやフードドライブの取り組みの発表により、支援の必要性を参加団体に周知することができた。当日参加いただいた企業等にゆるやかなネットワーク組織の立ち上げについて提案したところ、参加全企業等より了承を得た。
- ・上記を受け、「多摩地域企業等情報交換の集い」に参加いただいた企業等をベースに、これまで多摩社協、多摩ボラセンとの関係の深い企業等に参加を集い、2月に「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会発足準備会」を開催し、ゆるやかな地域貢献のネットワーク連絡会の設置の承認を得て、名称を「多摩地域企業・大学等連絡会」、愛称を「ゆるたまネット」とした。運営ルールや多摩地域企業・大学等連絡会の正式な立ち上げは次年度に検討することとなった。

③ 福祉協力店の拡充

3店舗が新たに協力店として加わっていただいた。2店舗の閉鎖があったため、協力店数は75店舗である。令和2年度に1店舗が新規協力店として協力していただける予定がある。

④ 自治会・町会・住宅管理組合等单位での車いすの提供

令和元年度は、自治会・住宅管理組合11団体に車いすを提供した。平成30年度での交付団体も合わせ2ヵ年で59団体に提供した。また提供した団体に対し、

地域での車いす活用に関するアンケートを実施した。車いすの取り扱い・管理方法の案内や役員への引継ぎ等について周知し、災害時なども含め、身近な地域で車いすを使用できる環境を整えた。

(2)【重点】生活困窮者支援の推進

① NPO等の支援及び連携

子ども食堂等で生活困窮者支援に取り組む団体の活動支援として、子ども食堂等活動支援金を実施し、市内の「子ども・誰でも食堂」を運営している6団体へ合計120,000円(1団体20,000円)の支援金の交付を行った。

② 生活支援とフードバンク等事業の推進

多摩市役所、地域包括支援センター、多摩市しごと・くらしサポートステーション、民生委員等からの相談で、支援が必要としている方への支援として、それぞれの団体と連携して、フードバンク事業等の必要な生活支援を行った。

4. 権利擁護の推進

(1)【重点】市民後見人の受任および法人後見監督の受任

地域福祉権利擁護事業の利用者の認知症が進み成年後見制度を利用する際に、申立人である親族に生活支援員であった市民後見人登録者を後見人候補者として推薦し、家庭裁判所に申し立てを行った。令和2年3月31日時点で申立中である。

5. 多様な相談機会の提供

(1)【重点】相談窓口の拡充

ボランティア相談については、相談内容に合わせてコミュニティセンターや公民館、老人福祉センターで出張相談を実施することで、より身近な地域で相談できる環境を整えた。また、新たに「NPO・ボランティア・市民活動個別相談会」を開始した。

福祉なんでも相談は、市内10カ所で地域包括支援センターや権利擁護センターなどと連携して実施した。また、居住者支援協議会と連携し、住み替え相談窓口としても相談対応も行った。昨年度試行的に実施した諏訪福祉館での相談を定期的な相談窓口として開設し、相談窓口の拡充を図った。

【見直し・拡充】

1. 新たな自治会・住宅管理組合福祉活動助成金の施行

平成30年度に見直しを行い、今年度より自治会・住宅管理組合が主体的に実施する地域福祉活動の支援を目的とした助成金に変更し、3つの区分を新たに設けた。区分1（見守りや支えあい活動に関する助成）に申請があった団体は4団体であった。今年度は合計61団体への助成を行った。

2. ふれあい・いきいきサロン助成金の活用

昨年度からの開催回数に応じた助成金制度を実施した結果、開催回数を増やした団体が増加し、月4回以上開催しているサロンは57団体となった。（前年度は42団体）。なお、今年度は登録団体の約半数が週1回以上の開催となった。

3. 災害時要配慮者からのメッセージの改訂

昨年度実施したアンケート等を参考にして、「多様な性を生きる者(LGBT)」や「災害時要配慮者避難図上訓練LODE」のページを追加した。

また、東京都と多摩市が合同で行った総合防災訓練や地域福祉推進委員会を通して、各地域へ冊子を800部配布し、要配慮者への支援方法等の周知を行った。

4. 財政基盤の強化

自動販売機設置事業において、福祉協力店の新規開拓を行い市内での自販機設置に向けて新たに2事業所と調整を進め、令和2年度より設置いただける予定である。また、助成金制度などの活用に向け、社協各事業に対する目的別型クラウドファンディングの実施について情報収集・研修への参加等を行った。

5. 多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体支援内容の拡充

ボランティア活動等振興助成金の申請募集を、年1回（4月）から年2回（4月、9月）に増やして実施した。結果、13団体、総額394,000円の助成金を交付することができた。※第2期に申請募集した傾聴ボランティアグループ「福寿草」に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止となり、助成交付額20,000円は返還された。

6. 地域福祉コーディネーターの配置

コミュニティエリア（地域包括支援センターエリア）と合わせて11名を地域福祉コーディネーターとして配置した。

今年度、個別相談件数175件、地域支援件数2,026件（延べ件数）（R1.4～R2.3）で、地域性に合わせ、課題解決や世代間交流等、子どもから高齢者まで幅広い対象の住民からの相談と活動、仕組みづくりに取り組んだ。

7. 各エリアの住民ニーズの把握

地域福祉コーディネーターとして、「地域支援」と「個別支援」に取り組んだ。

「地域支援」としては、地域福祉推進委員会でのワークショップによる課題を抽出や、自治会・住宅管理組合単位での住民懇談会による課題を抽出した。

「個別支援」では、福祉なんでも相談や包括支援センター主催の地域ケア会議に参加し、個別ニーズを把握した。

8. 生活支援サービスの推進（生活支援コーディネーターの配置）

生活支援コーディネーターを日常生活圏域（5圏域）を配置し、高齢者の居場所づくりや、近所 de 元気アップトレーニング（近トレ）を活用した介護予防の促進など、地域包括支援センターや他の専門機関とも連携して活動を進めた。

近所 de 元気アップトレーニングは 39 団体が活動。（R2.3 月末）

地域活動支えあいリストの内容を更新し、10,000 部発行した。公共施設の他、医師会を通じ市内クリニックにも配布し、高齢者等への情報提供の拡大を図った。

1 みんなが“つながり”“助けあえる”仕組みを広げます

1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

○コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関からの相談対応や地域福祉推進委員会の運営支援を行うことで、人と人、人とサービスをつなぎ、制度の狭間にある生活課題や地域課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

○たすけあい有償活動やふれあい・いきいきサロン活動の推進を継続し、地域での支え合いの仕組みづくりや居場所づくりに取り組みます。

取り組み	NO. 1-1-1 地域福祉コーディネーターの配置		
内 容	コミュニティエリアごとに配置し、住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守りや居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援します。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	●地域包括支援センターエリアに合わせ配置	●エリア担当の整理・統一	→
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <p>●昨年度より継続して、2 コミュニティエリアに 2 名の地域福祉コーディネーターを配置し、当該エリア内の地域包括支援センター等の関係機関と連携を強化する。また、分野や対象を限定せず、横断的に住民の相談に応じ、子どもや高齢者など多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守り・居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援する。</p>		
取組結果	<p>●コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを 1 名配置（*）し、関係機関と連携し、以下の NO. 1-1-2 から 1-1-9 までのとおり地域支援中心に取り組んだ。また、NO. 3-2-1 のとおり、個別相談を市内各所で行い、必要に応じて関係機関につなげるなど個別支援を行った。</p> <p>（*）統括者含めて計 11 名配置。地域包括支援センターエリアごとに 2 名 1 組となり、各コミュニティエリア中心に活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別相談件数 175 件 ・ 地域支援件数 2,026 件 ・ サロン登録団体数 105 団体 <p>※H31.4～R2.3 までの延べ件数</p>		

取り組み	【重点】NO.1-1-2 地域福祉推進委員会の運営支援		
内 容	10のコミュニティエリアごとに設置されている「地域福祉推進委員会」の運営を支援します。また、委員会に取り込めていない地域への支援も行います。		
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●既設置の地域福祉推進委員会の支援・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●和田地区での地域福祉推進委員会の立ち上げ検討 ●一ノ宮地区での取り組み検討 	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">→</div> <ul style="list-style-type: none"> ●東寺方・和田地区にて地域住民懇談会の開催 ●関戸地区の地域福祉推進委員会に一ノ宮地区の住民も参加し、取組みを検討 ●乞田地区での取り組み検討
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東寺方・和田地区ではコミュニティセンターや自治会・老人クラブ・民生委員等と連携し、住民懇談会の開催を目指す。 ●一ノ宮地区に関しては、関戸地区の地域福祉推進委員会に平成30年度から一ノ宮地区のサロンを中心に参加しており、一ノ宮地区単独での委員会立ち上げか合同で実施をするかも含めて検討する。 ●既設置の地域福祉推進委員会については、住民が主体的に運営できるように支援する。同コミュニティエリア内で、委員会に取り込めていない地域に関しては、ニーズ調査等を行いながら地域住民懇談会の開催に向けて準備を進める。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●10か所の地域福祉推進委員会では、継続して住民主体の運営支援を実施した。 ●和田地区では、大栗川かるがも館の運営協議会と連携し福祉なんでも相談を開催。地域ニーズの把握に努め、近トレ体験会などを開催。 ●東寺方地区では、自治会や老人クラブ等と連携し、住民懇談会（ざっくばらんな座談会）を3回開催した。情報交換や課題の共有をする中で、居場所づくりの取組からサロンが新規で立ち上がった。 ●一ノ宮地区では、防災や居場所づくりなど関戸地区と共通の課題から4丁目のサロンと連携を進め、地域福祉推進委員会の参加を促した。結果、地域福祉推進委員会の名称を「まち育てネットワーク関戸」から「まち育てネットワーク関・一」へ変更し、関戸地区と一ノ宮地区で一体的に推進する体制を作った。 		

取り組み	NO. 1-1-3 各エリアの住民ニーズの把握		
内 容	地域の座談会やワークショップなど、地域性に合わせた方法で住民ニーズ・課題を把握し、明確化します。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●各地域福祉推進委員会と連携し計画 ●5 エリアでニーズ調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●5 エリアでニーズ調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●10 エリアでのニーズ調査まとめ
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各地域福祉推進委員会でのニーズや課題のまとめを行う。グループワーク等の実施、各事業（講座等）で参加者にアンケートを実施し、ニーズや課題を把握し明確化していく。また、その他のニーズや課題を把握し、計画策定につなげる。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉コーディネーターとして「地域支援」「個別支援」をしていく中で各エリアの住民ニーズの把握に努めた。 <p>【地域支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進委員会でワークショップによる課題を抽出した。 ・自治会、住宅管理組合単位での住民懇談会による課題を抽出した。（落合地区、東寺方地区⇒出前サロンから住民主体のサロン立ち上げを支援した。） <p>【個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談や包括支援センター主催の地域ケア会議に参加し、個別ニーズを把握した。 <p>⇒把握した住民ニーズや課題を基に、「エリア別活動計画」を作成した（1-1-4 参照）。また、地域福祉コーディネーターの活動内容について、活動報告書としてまとめた。</p>		

取り組み	【重点】NO. 1-1-4 各エリア別活動計画の策定		
内 容	各エリアのニーズ調査に基づき、地域課題を抽出し、各エリア地域福祉推進委員会の活動計画の策定に取り組みます。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●各地域福祉推進委員会と連携し計画 ●ニーズ調査に合わせて5エリアの地域福祉推進委員会で試行的に作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズ調査に合わせて5エリアの地域福祉推進委員会で作成 ●フォーマット等の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ●全エリアで作成し、事業に反映する (後期実施計画に反映)
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【まちづくり推進担当】 <ul style="list-style-type: none"> ●明確化した地域課題やニーズを基に、地域福祉推進委員会とも連携し、エリアの特性に合わせた地域活動計画を作成し、住民が課題解決できるよう、地域福祉を推進していく。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉コーディネーターが活動して把握した住民ニーズや課題をコミュニティエリアごとにまとめた。地域福祉推進委員会の世話人を中心に検討し、共通したフォーマットで「エリア別活動計画」を作成した。各地域福祉推進委員会の活動の方向性や各エリアの活動を可視化した。 		

取り組み	【重点】NO. 1-1-5 コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援		
内 容	自治会・町会・住宅管理組合等单位（第3層）で地域福祉コーディネーターが相談支援や見守り・居場所づくり、住民主体の支えあいの仕組みづくりなどの支援を行います。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会、町会、住宅管理組合等の対象検討・ニーズ調査・調整（1～3 団体を選出） 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象の自治会、町会、住宅管理組合等でエリア担当のコーディネーターが支援開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援の継続と評価
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【まちづくり推進担当】 <ul style="list-style-type: none"> ●豊ヶ丘地区の自主防災組織に対し、LODE を活用した支援を継続し、住民同士の見守り・支えあいの仕組みづくりを目指す。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ●永山地区において、自治会や地域包括支援センターと連携し、住民同士の助けあいの仕組みづくりに向けた支援を継続する。 ●他の地区においても、自治会・町会・管理組合等の単位での見守り・支えあいの仕組み作りに向けて支援を行う。
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●「自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金」の区分1の申請があった団体を基に、要配慮者の見守りや支えあいの仕組みづくりを支援した。 ・百草団地：話し相手や安否確認、生活支援等の仕組みづくり。 ・鶴牧地区：要配慮者の調査や、学識経験者とのつなぎなど。 ・聖ヶ丘地区：要配慮者の見守りや生活支援の仕組みづくり。 ・永山地区：ゴミ出し、家具移動等の生活支援の仕組みづくり。 ●その他の地区 ・落合地区：団地内で住民懇談会を開催し居場所づくりを支援した。 ・豊ヶ丘地区：LODE を活用し要配慮者支援の伴走支援の実施。 ●「支えあいの手引き」の作成に取り組み、生活支援の仕組みづくりや市内の事例をまとめ、この手引きを活用した自治会・住宅管理組合単位での支えあいの仕組みづくり支援を、後期計画にも位置付けた。

取り組み	【重点】NO. 1-1-6 活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）		
内 容	より小地域で住民が相談できる環境づくりや、地域福祉コーディネーターが地域包括支援センターなどの専門機関と連携し、一体となった活動展開をしていくための拠点をコミュニティエリア内に設けます。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	●コミュニティエリア内での地域福祉コーディネーターの拠点を検討・調査・調整	●モデルエリアを設定し、地域福祉コーディネーターを配置協議・検討	●コミュニティセンター等で実施している福祉なんでも相談の時間を延長し、地域福祉コーディネーターの拠点を検討
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【まちづくり推進担当】 ●コミュニティエリア内での地域福祉コーディネーターの拠点を検討・調査・調整し、市と協議していく。		
取組結果	●住民活動拠点を確保するため、豊ヶ丘地区において、団地の空き店舗を活用したコミュニティスペース（豊ヶ丘健幸つながるひろ		

	<p>ば)の立ち上げに UR 都市機構、居宅介護支援事業所運営法人、市と協議・連携し調整を進めた。(令和2年度居宅介護支援事業所と併設で開設予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の運営に向けて、地域住民を対象に説明会を2回、検討会を1回実施した。 ●地域福祉コーディネーターの拠点については、引き続き後期計画の検討課題とした。
--	--

取り組み	NO.1-1-7 自治会・町会・住宅管理組合福祉活動の支援(助成)		
内 容	自治会・町会・住宅管理組合等で行う、地域内におけるコミュニケーションの活発化を図るための事業や、福祉に関する事業に対し助成金を交付します。		
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
	●一部見直し、実施	●見直し、実施	●実施
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度に見直しを行い、今年度より新たに施行する助成金制度を以って、自治会・住宅管理組合が主体的に実施する地域福祉活動の支援を行う。助成対象を、従来の交流事業(コミュニケーションの活発化を図る事業)から、福祉活動への取り組みへ重点を移す。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会・住宅管理組合の福祉活動をさらに推進するための助成金として、今年度より「自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金」として事業を施行した。 <p>昨年度までの一律の助成から、福祉活動の深度によって、区分を3つに分け、助成金額を変更した。</p> <p>区分1：上限50,000円 区分2：上限20,000円 区分3：上限10,000円</p> <p>⇒61団体に総額960,000円を助成(附属明細書P57参照)</p> <p>※新型コロナウイルスのウイルス影響等で3団体が申請取り消し(上記には含まず)</p> <p>※住民主体の継続的な福祉活動を支援する区分1は、4団体に助成。これらの活動については地域福祉コーディネーターが仕組みづくりや相談などを伴走支援している。(1-1-5参照)</p>		

取り組み	NO.1-1-8 たすけあい有償活動の推進		
内 容	高齢者・障がいのある人、病気を持っている人などで、日常生活でお困りの方を市民同士で支えあう有償活動を推進します。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	●継続、実施 (登録協力員 210 人)	(登録協力員 220 人)	(登録協力員 230 人)
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●協力員の登録数を 230 人を目標に確保し、全市的に日常生活のちょっとした困りごとに対応できる体制を充実させる。 ●活動実績の少ないエリア（和田・東寺方地区等）では、広報を強化、協力員の登録数を増やす。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度の登録協力員数は 149 名（うち新規登録 30 名）であった。協力員の高齢化、転居等により昨年度より 17 名減（昨年度 166 名）となったが、以下の取り組みにより新規で 30 名の登録を得ることができた。 ⇒ 全市向けのたすけあい有償活動協力員登録説明会を 1 回実施し、参加者は 10 名。その他に協力員の少ないエリアに関して、地域ごとにコミュニティセンターや自治会・管理組合と連携し、百草団地・ブリリア諏訪・大栗川かるがも館で 3 回説明会を開催し、事業の啓発につながるとともに協力員の新規登録につながった。 ⇒ 社協内で連携し、老人福祉センターにて有償活動合同説明会を実施し、協力員の新規登録につながった。 ⇒ 近隣の郵便局や公共機関などにも協力員説明会チラシの配架協力を行ったことで、広い範囲からの申し込みにつながった。 		

取り組み	NO.1-1-9 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援		
内 容	高齢者や子育て中の親子など地域の誰もが楽しく気軽に立ち寄れる仲間づくりの場として、「ふれあい・いきいきサロン」等の立ち上げ・運営支援を行います。サロンの開催回数に応じて助成額を変更し、運営継続支援を行います。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	●90 か所 ●助成金の見直し	●100 か所以上 ●助成額の変更	●110 か所
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内のサロン 110 か所を目指す。 ●自治会等と連携し、各エリアの状況に応じてサロンのない地域で出前サロンを実施する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度、新規立ち上がったサロンは 20 団体。登録サロン 105 団体、連携サロン 6 団体、ラウンジ活動を含め合計 116 団体の活動を支援した。 ●昨年度から開催回数に応じた助成金制度を施行した結果、開催回数を増やした団体が増加した。月 4 回以上開催しているサロンは 57 団体となった。(昨年度 42 団体)。なお、今年度は約半数が週 1 回以上の開催となっている。 ●サロンの無い地域(東寺方地区等)では出前サロンを開催し、新規サロン増加に努めた。(東寺方地区や落合 3-1 地区では新規サロンが立ち上がった) ●継続したサロン支援 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン説明会を 2 回開催 (7 月 : 10 人参加、2 月 : 3 人参加)。 ・サロン交流会を 1 回開催(2 月 : 54 団体 78 人参加) 法人や企業の地域貢献活動の紹介や体験及び情報交換を実施。 ・地区別のサロン交流会を 2 地区で開催 (6 月 : 永山地区 23 人、12 月 : 関戸地区 20 人) ●サロン通信 4 回発行 (6 月、10 月、12 月、3 月) 		

1-2 生活支援サービスの推進

○生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター等の関係機関や地域住民との連携を図りながら、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるような生活支援・介護予防の基盤づくりに取り組みます。

○介護保険法の介護予防・生活支援サービス事業である「住民主体による訪問型サービス」を実施し、住民主体による生活支援を推進します。

*平成30年4月より「住民主体による訪問型サービス」に名称が変更

取り組み	NO.1-2-1 生活支援サービス事業の実施		
内 容	「新しい総合事業」に基づく、介護予防・生活支援サービス事業における、住民主体の生活支援に関わる訪問型サービスを実施します。		
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
	●継続(訪問型サービスB)	●活動内容の拡大	●買物同行支援の充実
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービス提供については、地域包括支援センターや新規事業所、市役所とも情報共有を図りながら、連携を取り進めていく。 ●平成30年4月からサービス内容に追加された「買物同行支援」にも対応できるような体制づくりを行う。サービスの担い手である生活サポーターの登録数を増やし、生活ニーズに応えられるサービス体制をつくる。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●活動実績は附属明細書P.81参照) ●地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携により利用者が増えた。(今年度19名増加) ●平成30年4月より買物同行支援が追加。市で行っている生活サポーター養成講座には買物同行支援の科目が追加された。年1回開催され、当会たすけあい有償活動登録員に受講を呼びかけた。結果20名が受講し生活サポーターの増員および、買い物同行支援に対応できる体制となった(地域包括支援センターから買い物支援同行依頼件数は1件)。 		

<p>取り組み</p>	<p>NO.1-2-2 生活支援コーディネーターの配置</p>		
<p>内 容</p>	<p>コミュニティエリア（第2層）での高齢者等を対象とした社会資源の把握やサービスの創出を行い、住民同士の支え合いの仕組みづくりに取り組みます。また高齢者の生活支援、介護予防、社会参加を一体的に推進します。</p>		
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p>	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p>	<p>令和元年度 (2019 年度)</p>
<p>●多摩市日常生活圏域に合わせて配置 (2 圏域)</p> <p>●居場所づくりや介護予防体操の普及など社会参加の促進を図る</p>	<p>●多摩市日常生活圏域に合わせて増員配置 (5 圏域)</p> <p>●居場所づくりや介護予防体操の普及など社会参加の促進のほかに、住民同士の支え合いの仕組みづくりの支援を行う</p>	<p>→</p> <p>→</p>	<p>→</p> <p>→</p>
<p>令和元年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>【まちづくり推進担当】</p> <p>●生活支援コーディネーターを日常生活圏域（5 圏域）を基に配置し、高齢者の居場所づくりや、近所 de 元気アップトレーニング（近トレ）を活用した介護予防の促進など、地域包括支援センターや他の専門機関とも連携して活動を進めていく。また、地域活動支えあいリストの更新を行い、サロン等の居場所や生活支援サービスの情報を周知し、様々な活動への参加を促す。</p>		
<p>取組結果</p>	<p>●近所 de 元気アップトレーニング（R2.3 月末時点 39 団体）を活用した介護予防や居場所づくりを行った。近トレの少ない地域（和田・中沢地区等）でのプレゼンテーションや老人会、自治会への説明を実施した。</p> <p>また、市内の居場所をまとめた「通いの場マップ」を作成した。</p> <p>●地域活動支えあいリストの内容を更新し、10,000 部発行した。公共施設の他、医師会を通じ市内クリニックにも配布し、高齢者等への情報提供の拡大を図った。</p> <p>●住民主体の支えあい活動を推進するため「通いの場」と「支えあい」の手引きの作成に着手した。</p> <p>●第 1 層モデル事業である桜ヶ丘地区の高齢者の移動支援について、第 1 層生活支援コーディネーターや当該住民組織と一緒に活動し、実証実験を行い、住民主体の活動に向けて支援を行った。</p> <p>●また、地域包括支援センターが開催する、地域ケア会議や地域課題会議への参加や、多摩市高齢支援課主催のぐっどらいふミーティングに参加し、個別ケースの検討を行った。</p>		

みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！

2-1 福祉を身近に感じる機会の提供

○市民が誰でも参加できる福祉に関わる行事を開催し、福祉活動の意義や重要性の周知や意識の啓発を図ります。

取り組み	NO. 2-1-1 福祉に対する意識の醸成			
内 容	各種福祉イベント等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年代の方々に各種体験などを通じて、楽しみながら身近に福祉やボランティア・市民活動を感じてもらう機会を提供することで、市民一人ひとりの福祉に対する意識の醸成を促進します。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	各種福祉イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉フェスタの開催 ●ボランティアまつりの開催 ●福祉大会の開催 	→	→
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【総務係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉フェスタは、「多摩社協が秋に実施するイベント」として地域に定着を図り、福祉に対する意識の醸成を促進するとともに、福祉施設・団体の参加、PR、財源確保につながるよう場を提供する。また、多摩ニュータウン環境組合及び唐木田コミュニティセンター運営協議会並びに大妻女子大学それぞれが行うイベント(たまかんフェスタ、菖蒲館まつり、学園祭)を通じてネットワークを形成し、近隣地域内の事業所等とのつながりをさらに深めながら福祉意識を醸成し、理解・促進を図る。 <p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主にシニア世代に向けた、「ボランティア・地域活動見本市(旧ボランティアまつり)」の実施については、令和2年度7月期までの関戸公民館の大規模改修に伴う代替会場の確保の問題と事業効果の側面から再検討し、令和2年度のオリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせた開催にむけ、関戸公民館と協議調整を図る。 <p>【総務係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉大会は、平成30年度に法人化45周年記念事業としてパルテノン多摩小ホールで開催した内容を検証し、平成31年度福祉大会は会場を含めて見直し検討し、実施する。 			

<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉フェスタは、近隣 4 施設で連携して同日開催、近隣ホームセンターにも同日イベント実施にて協力をいただいた。また、障がいスポーツ体験会や「ボランティア・地域動見本市」を福祉フェスタ内で開催することにより、市民への福祉理解や市内で活動しているボランティア・市民活動団体等の出会いの機会となった。 ●福祉大会は、市民ホールを会場として表彰式典・多摩桜の丘学園によるアトラクション・講演会「安心して暮らせる地域づくりに向けて」の内容で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 			
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>障がい者理解の促進</p>	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p>	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p>	<p>令和元年度 (2019 年度)</p>
		<p>●障がい者と共にひとときの和の開催 (年 2 校)</p>	<p>●学校のニーズに応じた障がい者と共にひとときの和の開催 (年 2 校)</p>	<p>→ (年 2 校)</p>
		<p>●障がい者スポーツを通じた理解の促進 (年 3 回)</p>	<p>●障がい者スポーツ体験をイベント等で実施 (年 4 回)</p>	<p>→ (年 5 回)</p>
		<p>●防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力</p>	<p>●防災訓練や福祉イベント、地域、関係機関へのハンディキャップ体験の実施・協力</p>	<p>→</p>
		<p>●関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催</p>	<p>●継続</p>	<p>→</p>
		<p>●講演会等の実施 (年 2 回)</p>	<p>●当事者や家族に役立つ講演会等の実施 (年 2 回)</p>	<p>→ (年 2 回)</p>

<p>令和元年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>【センター係（障がい担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「障がい者と共にひとときの和」開催校のニーズに応じたプログラムを実施するとともに関係福祉団体との連携を強化し、障がい者理解を深める内容の充実を図る。 ●障がい者スポーツ体験イベントについて、体験種目や実施場所を増やし、広く地域住民に向けて障がい者理解と普及啓発を行う。 ●福祉イベントの他、地域や関係機関へのハンディキャップ体験を実施、協力することで支援方法と障がい者理解を深める。 ●講演会を通じて、当事者や家族、支援者に役に立つ情報を提供することで社会との交流や不安の解消につなげるとともに地域住民における障がい者理解を促進する。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「障がい者と共にひとときの和」を市内小学校2校で開催。福祉団体による講話・体験、福祉車両体験の他、初めて聴導犬講話を取り入れるなど、開催校のニーズに沿って実施した。また車椅子体験は市内高齢者福祉施設の協力のもと行った。 ●福祉フェスタで「サウンドテーブルテニス（卓球）」体験を実施。イベント開催時の体験コーナーには多くの参加者があり、障がい者理解と障がい者スポーツの普及を行うことができた。 ●ひきこもりなど生きづらさの現状や当事者が家族・社会に求めるサポートのあり方について、ピアサポーターの協力のもと学習会を開催した。また、中途失聴・難聴者とのコミュニケーションやサポート方法について、関係機関に協力し啓発講座を開催した。

2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成

○ボランティア活動や有償活動等、地域の福祉活動や健康づくり活動に積極的に関わっていく人材を育成します。また、単体組織・団体では解決できない課題等に対応していくため、ボランティア団体、NPO・市民活動団体との連携及び支援を強化していきます。

<p>取り組み</p>	<p>【重点】NO. 2-2-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成</p>			
<p>内 容</p>	<p>地域福祉コーディネーター等による積極的なアウトリーチの展開により、地域のニーズを把握し、ボランティア担当との連携により、多様なボランティア・地域活動情報を市民に向けて発信します。加えて、地域出前事業を充実しながら、若い世代からシニア世代等幅広い世代に対して、ボランティア・地域活動に関する普及・啓発、福祉教育、市民学習の機会を提供し、地域活動者の掘り起こしを行います。</p> <p>また、地域活動等参加促進プログラムを見直し、学校、ボランティア・地域活動団体、関係機関等と連携しながら、ニーズに沿った講座や学習会を提供するとともに、既存のボランティア・地域活動団体、施設等の活動受け入れ先を拡充し、“今あなたが出来ること”が地域活動につながるようコーディネート機能の充実を図ります。</p> <p>さらに、活動者に対して継続した活動へつなげていくために研修会の実施やフォローアップ体制の充実・強化を図ります。</p>			
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>地域活動者の 発掘、住民参 加の促進</p>	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉教育、市民学習に関する地域出前講座、学習会の開催、コーディネート ●たすけあい有償活動協力員説明会の開催 (年 2 回) (登録者 210 人) ●生活支援員事業説明会の開催 (年 2 回) ●多摩社協活動協力員の検討・設置 	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p> <p>(登録者 220 人)</p> <p>・ 活動内容精査</p>	<p>令和元年度 (2019 年度)</p> <p>(登録者 230 人)</p> <p>・ 拡充</p>

<p>令和元年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団体、学校等と協力して、学校や企業・地域でのボランティアや、障がい者、高齢者理解へつなげる講座や体験を実施する。 <p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たすけあい有償活動の協力員登録説明会を年2回、上半期、下半期各1回実施する。また、自治会など小地域での事業説明を行い、協力員の登録については随時行う。 <p>【権利擁護センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉サービス利用援助事業で活動する生活支援員の人材発掘・登録を行う。 <p>【総務係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多摩社協活動協力員(*1)へのアンケート結果を踏まえ、意見・情報交換会及び研修会を毎年開催し、活動内容の充実に努めるとともに、民生委員経験者など福祉活動に理解のある幅広い方々に活動内容を説明し、協力者のすそ野を広げていく。 <p>(*1) 多摩社協の役員や評議員経験者など、地域福祉に理解のある方々が協力員として登録し、地域福祉活動推進の一翼を担っている方々。平成31年2月末現在23名登録。</p>			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の特別養護老人ホームなどの事業所やボランティア団体と連携して、小学校や企業などで福祉学習を実施した(13回)。 ●福祉サービス利用援助事業の生活支援員活動内容について、パンフレットやDVDを用いて説明を行った。(2回実施し参加者11名、うち3名新規登録。令和元年度末現在40名登録) ●全市向けのたすけあい有償活動協力員登録説明会を1回実施し、参加者は10名。その他に今年度は地域ごとに開催(百草団地・ブリリア諏訪・大栗川かるがも館で、新規登録20名)し、新規登録総数は30名であった。令和2年3月末の協力員登録数は149名。 ●予定していた研修会は、新型コロナウイルスの影響により中止とした。退職職員、退任役員、民生委員経験者の福祉活動に理解のある方の登録を増やした。(令和2年3月末現在で26名) 			
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>ボランティア・地域活動者の育成支援(地域活動等参加促進プログラムの見直し、再構築)</p>	<p>平成29年度 (2017年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動へつなげるコーディネート方法の再構築 ●市民活動講座の開催(年2講座) ●夏のボランティア体験者の拡大(参加者180人) 	<p>平成30年度 (2018年度)</p> <p>●充実</p> <p>(参加者190人)</p>	<p>令和元年度 (2019年度)</p> <p>(参加者200人)</p>

	●老人福祉センター「寿大学」、各種学習会の開催 (年 20 講座以上)		→
	●地域活動支援センター講座の開催 (年 12 講座)	●継続	→
	●成年後見に関する講座、学習会の開催 (年 5 回)		→
	●多摩市介護予防ボランティアポイント事業の拡充(事業対象活動メニューの拡充等) (登録者 400 人)	(登録者 400 人)	(登録者 450 人)
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【ボランティア担当】</p> <p>●ボランティア団体や事業所と協力して、学校や企業・地域でのボランティアや、障がい者、高齢者理解へつなげる講座や体験を実施する。</p> <p>【センター係(高齢担当)】</p> <p>●老人福祉センター寿大学「21 講座」うち新規講座 2 講座を予定。</p> <p>【センター係(障がい担当)】</p> <p>●障がいのある方を対象に講座を開催し、社会参加と交流の場を提供する。また、障がい者パソコンボランティア養成講座について関係団体へ協力する。</p> <p>【権利擁護センター】</p> <p>●成年後見制度に関する講座・学習会を開催し制度の普及啓発を行う。</p> <p>【ボランティア担当】</p> <p>●多摩市介護予防ボランティアポイント登録者説明会および出張相談を毎月実施する。</p>		
取組結果	<p>●夏のボランティア体験では、小中高の学校関係、高齢者団体・施設等への事業紹介や連携を通じ、参加者の大幅な増加(令和元年度体験者 446 人。3 年間で 282 人増)につながった。</p> <p>「車イス操作指導法講座」(全 2 回。延べ参加者 51 人)「昔あそびボランティア講座」(全 3 回のうち、2 回開催。延べ参加者 21 人)を開催し、地域で活動する新たなボランティアを発掘・育成した。</p> <p>●法定後見制度・任意後見制度等について弁護士などの専門職から制度の活用方法等について講演を行った。障がい者及びその家族を対象とした「成年後見の集い」ではアンケートより「今後も参加したい」と</p>		

	<p>の回答を多数いただいた。(6回実施、参加者123名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●寿大学23講座、うち新規に2講座(ハングル初級、ボディコンディショニング)を実施。 ●体操・陶芸・パソコン教室を身体・知的・精神障がい者、発達障がいのある子どもとその親を対象として6講座を実施し、社会参加と交流を促進した。(延べ参加者530人)また、障がい者パソコンボランティア養成講座は関係団体に広報と開催場所の協力を行った。 ●シニア向けに、ボランティアや地域活動を通じて健康寿命を延ばし、これまで培った知識や経験を活かしながら、豊かなセカンドライフを送るためのきっかけを見つけていただくために、「シニアのため ボランティア・地域活動ハンドブック」を発行した。介護予防ボランティアポイント事業では、毎月説明会を開催するなど活動登録者を増やし、高齢者施設だけでなく子ども食堂や児童施設など活動の幅を広げた。(今年度登録者数78名。全ボランティアポイント登録者数477名)。 			
<p>活動計画 (年次計画)</p>		<p>平成29年度 (2017年度)</p>	<p>平成30年度 (2018年度)</p>	<p>令和元年度 (2019年度)</p>
	<p>活動者へのフォローアップ</p>	<p>●体験や講座参加者のフォローアップの構築</p>	<p>●実施</p>	<p>→</p>
	<p>及びスキルアップ支援</p>	<p>●たすけあい有償活動協力員研修会の開催 (年2回)</p>	<p>→</p>	<p>→</p>
	<p>フォローアップ</p>	<p>●生活支援員研修会の開催 (年2回)</p>	<p>→</p>	<p>→</p>
	<p>フォローアップ</p>	<p>●後見人懇談会の開催 (年3回)</p>	<p>→</p>	<p>→</p>
	<p>フォローアップ</p>	<p>●同行援護従事者懇談会・研修会の開催 (年2回)</p>	<p>●継続</p>	<p>→</p>
	<p>フォローアップ</p>	<p>●登録手話通訳者、要約筆記者研修会の開催 (年20回)</p>	<p>●継続</p>	<p>→</p>

<p>令和元年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既にボランティア・市民活動をしている方を対象として、スキルアップを図るための講座を実施する。 <p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たすけあい有償活動の協力員に対する研修を年2回、上半期、下半期各1回実施する。また、初任者向けとステップアップと研修内容を講義研修と実技研修など目的に合わせ実施する。 <p>【権利擁護センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉サービス利用援助事業で活動する生活支援員の人材育成のため生活支援員研修会を実施する。 ●成年後見活動における後見業務について、親族後見人・専門職後見人に対して後見人懇談会を実施する。 <p>【センター係（障がい担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同行援護従事者のスキルアップのための技術研修会と、日頃の活動について情報を共有し意見交換を行うための懇談会を開催する。 ●手話通訳者及び要約筆記者の意見を取り入れながら、技術向上のためのスキルアップ研修を実施する。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度傾聴ボランティア養成講座受講生を対象に「傾聴ボランティアフォローアップ講座を開催（参加者20名）。その後、多摩市立総合子育てセンターへ施設見学をし、高齢者対象の傾聴活動だけでなく子育て中の方の支援の拡大を検討。 ●たすけあい有償活動協力員に対する研修を5月に上半期の認知症講座は初任者向講習として12名参加し、下半期はステップアップ編として12月に車イス操作講習の内容で開催し11名の協力員が参加しそれぞれ利用者理解につながる機会となった。 ●多摩市における成年後見制度の利用促進についてや、被後見人の意思の尊重についてなど、様々なテーマで参加者同士の懇談会を開催した。（3回実施、参加者30名） ●生活支援員に対して安全運転講習や、活動時に困ったこと・良かったことの共有等を行い、生活支援員のスキルアップを行った。（2回開催、参加者30名） ●同行援護従事者研修や懇談会では、高齢で歩行機能が低下している利用者への支援技術や支援困難事例の共有、同行援護の現状についての報告などを行った。 ●手話通訳者及び要約筆記者の意見を取り入れながら、技術向上のためのスキルアップ研修を、手話11回・要約筆記7回実施した。

取り組み	NO.2-2-2 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充			
内 容	ボランティア担当登録団体に限らず、ボランティア団体、NPO・市民活動団体と連携を深める場を構築し、課題を共有しながら連携した活動展開を図ります。また、ボランティア活動等の振興及び活性化を図るため、ボランティア登録団体の支援を強化し、ボランティア登録団体への加入及び幅広い市民の地域活動への主体的な参加を促進します。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	ボランティア団体、NPO・市民活動団体同士のネットワークの構築	● ネットワーク化に向けた検討・ニーズ調査	● ニーズ調査を基に必要な応じたネットワーク化	● 精査
令和元年度事業計画 (実施目標)	【ボランティア担当】 ● 団体へのニーズ調査結果に基づいて、ネットワークのあり方について団体の考え方を確認して、必要に応じてネットワーク化を図る。			
取組結果	● 代表者会議及び登録団体連絡会の中で、ネットワーク組織であるこの連絡会の必要性、存在意義について意見が出されている。合わせて、永山分室閉鎖後のボランティア活動団体の活動拠点の整備についても検討を進めた。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	ボランティア登録団体支援の強化	● 支援内容の検討	● 拡充	→
令和元年度事業計画 (実施目標)	【ボランティア担当】 登録団体へのニーズ調査を基に、登録団体が地域での活動を充実していくための講座を実施する。			
取組結果	● ボランティア活動等振興助成金の申請募集を年 1 回（4 月）から、年 2 回（4 月、9 月）に増やして実施した。結果、登録団体 13 団体へ合計 394,000 円を助成した。※第 2 期に申請、交付した傾聴ボランティアグループ「福寿草」は、事業開催がコロナウィルス感染拡大防止により中止となったことから、交付額 20,000 円が返還された。			

2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

○市内の企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動に対する支援やコーディネートを行うとともに、民間団体の福祉的活動への支援を推進します。

取り組み	【重点】NO.2-3-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築			
内 容	<p>市内社会福祉法人や福祉活動団体、企業等の地域福祉活動への参画を促進し、連携・協働しながら、多様な福祉ニーズや生活課題など、様々な地域課題を解決できるよう取り組みます。</p> <p>たまボランティアギフトの仕組みと企業情報交換の集いの内容を構築し、より参加につながるよう、支援します。</p>			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	市内社会福祉法人連携事業の推進	●法人連携事業の検討（地域ニーズの調査）	●連携事業の実施	●連携事業の継続 ●相談窓口事業など新規連携の実施検討
令和元年度事業計画 (実施目標)	<p>【総務係】</p> <p>●市内社会福祉法人ネットワーク連絡会において、利用・活用サポートガイド、フードドライブ、車椅子貸出し事業を通じて、各法人の地域における公益的な取り組みを推進していく。</p> <p>また、「子ども支援につながる取り組み」など他市の社会福祉法人連絡会で実施している地域公益活動なども参考にしながら、各法人で連携してできる活動を検討し、さらなる取り組みを促進していく。</p>			
取組結果	<p>●フードドライブ窓口の設置、地域内での車椅子無料貸出など、法人の地域での公益的な取組を継続して実施。フードドライブでは約 350kg の食糧を集め、フードバンク団体、子ども誰でも食堂運営団体、困窮者世帯にそれぞれ配布した。</p> <p>また、来年度からの新規取組に向けて連絡会内で情報収集・交換を行い、学校等での福祉啓発に関する活動や災害に備えた法人連携について方針を固めた。</p>			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	市内大学・企業連携事業の推進	参加の方法 ①・周知の機会 ②・連携の場 ③を設けて、企業等の参加促進を図る。	①参加する仕組み（たまボランティアギフト）	参加する仕組み（たまボランティアギフト）

		フト)の再構築	の充実 (活動企業・団体:5社・団体)	自体的見直し
		②情報周知の機会・方法の再構築	情報周知の機会の充実 ●企業等情報交換の集いの開催 (年1回)	→
		③企業等の連携の場(仮称:企業等連絡会)の検討	(仮称)企業等連絡会の設置	情報共有・ネットワーク化
令和元年度事業計画(実施目標)	<p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア活動の参加促進にむけた仕組み(たまボランティアギフト)自体的見直しを図り、企業等への具体的な活動の提案をしていけるよう整備を進める。 ●企業等の情報交換の集いのなかで、地域課題や取り組み状況について情報共有し、具体的な活動につながるための機会とする。 ●現在活動中、もしくは今後活動を希望する企業等が、日頃の業務のなかで、連携や活動に参加できる情報ツールとしてメーリングリストの活用などについて検討・試行する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●「多摩地域企業等情報交換の集い」を開催し、「食」をテーマにフードバンクやフードドライブの取り組み発表し、支援の必要性を参加団体に周知することができた。 ●「集い」に参加した団体より企業等のゆるやかな地域貢献のネットワーク連絡会の設置の承認を得て、名称を「多摩地域企業・大学等連絡会」・愛称「ゆるたまネット」とした。 ●ボランティアギフトの見直しについては、多摩地域企業・大学等連絡会で検討していくこととした。 			
活動計画(年次計画)	福祉協力店の拡充	平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)
		●協力内容の見直し 目標:65店舗以上	●新規協力店開拓 目標:70店舗以上	●拡充 目標:75店舗以上
令和元年度事業計画(実施目標)	<p>【総務係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して福祉協力店の新規開拓を行い、企業の社会貢献活動の取り組みを促進していく。同時に、自動販売機設置協力店及び入れ歯等回収ボックス設置店の拡充も積極的に行い、本会財政基盤の強化も図っていく。 			

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉協力店は、75 店舗で内新規は、3 店舗であった。車いす設置内容の協力店が 2 店舗増え、社協の窓口以外では 7 店舗にて貸出することができるようになった。 ●自動販売機の工事現場等への設置が終了、新規 2 箇所でも協力いただける事業所との調整を進めたが、設置開始は年度をまたぐこととなった。 			
活動計画 (年次計画)	自治会・町会・住宅管理組合等単位への車いすの提供	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
		●車いす提供設置助成事業の検討	●実施	●精査
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、町会、住宅管理組合の支援として、災害時等も含め地域で活用できるよう希望する団体に車いすを提供する。地域福祉特定基金を活用した単年度事業として実施する。なお、点検等の管理ができることを条件とし、車いす提供に関しては助成の仕組みを検討する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会・住宅管理組合 11 団体に車いすを提供（自走用 4 台、介助用 7 台）。受け渡し時に取り扱いや管理方法に関する説明会を実施した。また、平成 30 年度の提供団体も合わせ 59 団体に対し、地域での車椅子活用に状況に関するアンケートを実施した。取り扱い・管理方法の案内や役員引継ぎ等について周知した。希望団体すべてに提供できたため、今年度で終了とした。 			

取り組み	【重点】NO. 2-3-2 生活困窮者支援の推進			
内 容	<p>基金等を活用した助成金の創設等を検討するなど、子ども食堂・学習支援・フードバンク事業などに取り組むNPO・市民活動団体、自治会等を支援します。</p> <p>また、関係団体と連携し、制度の狭間となるニーズに則した事業を実施します。</p>			
活動計画 (年次計画)	NPO等の支援及び連携	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
		●活動団体の把握・支援内容の検討、実施	→	→
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども食堂等で生活困窮者支援に取り組む団体の活動支援として、子ども食堂等活動支援金を実施する。 			

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども食堂等への支援として、「子ども食堂等活動支援金」を実施し、6団体へ合計120,000円を交付した。 ●多摩ボラセンホームページに子ども食堂一覧を掲載し、開催場所、時間、ボランティア募集等について詳細がわかるようにした。 			
活動計画 (年次計画)	生活支援とフードバンク等事業の推進	平成29年度 (2017年度) <ul style="list-style-type: none"> ●貸付事業の実施 ●関係団体と連携したフードバンク等事業の推進 	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【総務係】 <ul style="list-style-type: none"> ●資金の貸付事業や地域福祉コーディネーターの取り組みなどを通じて、生活困窮者ニーズの把握を行い、制度の狭間となる課題・問題などに対して、民生委員や関係団体と連携し、フードバンク・フードドライブ事業等必要な生活支援を推進していきます。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●生活福祉資金相談件数は2,148件、うち貸付に至ったのが9件。相談件数は昨年より若干増えたが、貸付件数は減少した。また、小口資金相談件数は425件、うち貸付に至ったものはなく、相談件数及び貸付件数は減少した。要因としては、日本学生支援機構の奨学金等の他の貸付制度の利用や、他機関との連携が進んだ結果ではないかと思われる。 ●新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等で収入の減少により、生活を維持するために貸付を必要とする世帯への特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資金生活支援費」を令和2年3月25日より受付を開始して令和2年3月末現在で相談件数67件うち11件の貸付申請があった。 ●フードバンク・フードドライブ パルシステム東京多摩センターと連携し、市内の組合員に物品寄付(フードドライブ)を呼びかけた。また、市内企業より備蓄品の入れ替えに合わせて非常食の寄付を受けた。多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会参加法人が実施するイベント開催時や、福祉フェスタ等でのフードドライブを行った。 さらに、子育て総合センター、フードバンク団体と連携し、必要な家庭に食料を配布する取り組みも継続している。 寄付品は、貸付相談を通じて必要な方に配布する他、市内の子ども食堂・だれでも食堂などを運営している団体や、多摩地域で活動しているフードバンク団体に配布した。 <ul style="list-style-type: none"> ・非常食寄付(フードドライブ)：96件 ・非常食配布：貸付利用者等19件、生活困窮者支援団体31件 			

3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！

3-1 権利擁護の推進

○成年後見制度をはじめとした権利擁護に関する事業の周知・啓発を図るとともに、市民後見人の養成に努めます。

取り組み	NO.3-1-1 権利擁護センターの運営			
内 容	高齢者や障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの利用支援や、成年後見制度の利用相談等を行います。また、後見活動等の相談や成年後見制度に関わる講演会等を実施し成年後見制度の普及啓発を行います。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	福祉サービス 利用支援事業 の推進	●新規契約 25 件 ●普及啓発事業 継続	●新規契約 25 件 —————→	●新規契約 25 件 —————→
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【権利擁護センター】 ●関係機関と連携し福祉サービス利用支援事業の普及啓発活動を行い、新規契約件数 25 件を目指す。			
取組結果	●新規契約者 24 名（内訳：認知症 11 名、知的 1 名、精神 8 名、要支援高齢 3 名、身体 1 名） R1 年度末契約者数 115 件。解約者数 19 件。 ●福祉サービス事業所、地域包括支援センター等と連携し、市民や利用者及びその家族、関係者向けに事業の普及啓発を行った。（6 回実施、参加者延べ 100 名）			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	成年後見制度 の利用促進	●【再掲】 成年後見に関 する講座・学 習会の開催 (年 5 回) ●相談事業継続	—————→ —————→	—————→ —————→
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【権利擁護センター】 ●成年後見制度の利用相談から申立支援まで、本人や親族に寄り添いながら相談支援を行う。 ●成年後見制度に関する普及啓発として講座・講演会を実施する。			

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●法定後見制度・任意後見制度等について弁護士などの専門職が制度の活用方法等について講演を行った。障がい者及びその家族を対象とした「成年後見の集い」ではアンケートより「今後も参加したい」との回答を多数いただいた。(6回実施、参加者164名) ●司法書士会と連携を行い、成年後見制度に関する相談会を実施した。(1回実施、参加者5名) 			
活動計画 (年次計画)		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
	後見人等支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】後見人懇談会の開催(年3回) ●相談事業継続 	→	→
令和元年度事業計画 (実施目標)	<p>【権利擁護センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●後見人等の活動における相談や家庭裁判所への報告書類の確認などの相談支援を行う。 ●成年後見活動における後見業務について、親族後見人・専門職後見人に対して後見人懇談会を実施する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩市における成年後見制度の利用促進についてや、被後見人の意思の尊重についてなど、様々なテーマで参加者同士の懇談会を開催した。(3回実施、参加者30名) ●親族後見人からの後見活動における相談等、12件の相談対応を行った。 			

取り組み	【重点】NO.3-1-2 市民後見人の養成		
内 容	地域住民による支え合いを推進するにあたり、市民後見人の養成を行います。また、法人後見監督人となり市民後見人の後見活動等支援を行います。		
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人候補者選考委員会の設置検討・要綱整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成を実施 ●市民後見人および法人後見監督人として受任を目指す(2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成を受けた人に対してケース受任 ●法人後見監督人として受任、市民後見人の支援・監督

<p>令和元年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>【権利擁護センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成を行う。 ●2件の市民後見人および法人後見監督人の受任を目指す。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人候補者検討会を1回開催。推薦された市民後見人を候補者とし、多摩市社会福祉協議会が法人後見監督人として受任したい旨の上申書を添付して、令和2年3月31日に1件申し立てを行った。

3-2 多様な相談機会の提供

○相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、相談者への包括的支援を目指し、各相談機関及び関係機関との連携を図る体制づくりを進めます。

<p>取り組み</p>	<p>【重点】NO. 3-2-1 相談窓口の拡充</p>		
<p>内 容</p>	<p>相談者の多様なニーズに応じるために、専門相談機能を充実させ、さらに身近な地域で相談を受けられる体制を作ります。また、関係機関と連携を図りながら地域福祉コーディネーターと包括的な相談体制を構築します。</p>		
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域で専門相談を実施する体制の検討 ●地域福祉コーディネーターと連携し、包括的な相談体制の構築 	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域で行う専門相談の拡充 ●精査、見直し、実施 	<p>令和元年度 (2019 年度)</p> <p style="text-align: center;">—————→</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実施
<p>令和元年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>【まちづくり推進担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内 10 カ所で実施している福祉なんでも相談で、認知症や権利擁護、住み替え相談など、専門機関等と連携した相談会を実施するなど充実した相談体制を構築する。 ●地域福祉コーディネーターと各相談窓口が連携し、ワンストップで相談を受けて様々な専門機関等につないでいく。 ●諏訪地区など、福祉なんでも相談を実施していない地域のサロン等での出張相談を実施し、相談窓口の拡充を図る。 <p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア相談については、相談内容に合わせてコミュニティセンター等での出張相談を実施する。 		
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括支援センターや権利擁護センターなどと連携し、市内 10 カ所で福祉なんでも相談を実施した。昨年度試行的に実施した諏訪福祉館を定期的な相談会とし、相談窓口の拡充を図った。 ・相談窓口のPRとして「脳トレ」や「ミニ講座」を開催し、なんでも相談の周知を図った。 ・居住者支援協議会と連携し「住み替え相談」も同時に行った。 (令和元年度 4 件) ●夏のボランティア体験やボランティアポイント等の受付など、身近な地域で市民が相談や手続きができるようにコミュニティセン 		

ターや公民館、老人福祉センターで出張相談を実施した。

- 「NPO・ボランティア・市民活動 個別相談会(事前予約制)」を令和元年9月より開催(月1回)。3月までに5回開催し、NPO法人の立ち上げ相談や会計相談などに対応した。

3-3 災害時支援体制の強化

○災害時・緊急時に平常時から備えるとともに、災害時・緊急時には市民同士が助け合えるような仕組み・関係を構築します。

取り組み	NO. 3-3-1 災害ボランティアセンター運営ボランティアの発掘・育成		
内 容	大規模災害時に、災害ボランティアセンターを迅速かつ円滑に設置・運営していくために、講座や活動を通じてボランティアの確保・育成に努めます。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●講座を実施して登録者を増やす (登録者数 40 人以上) ●登録者研修の検討 	<ul style="list-style-type: none"> (登録者数 50 人以上) ●実施 	<ul style="list-style-type: none"> (登録者数 60 人以上)
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近年多発している災害をテーマした災害ボランティア入門講座を実施し、講座をきっかけに災害ボラセンの講座や演習・訓練へ参加者を結びつけ、運営ボランティアを増やす。 ●運営ボランティア登録者のスキルアップを図るための研修を実施する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度、災害協定を締結した多摩青年会議所や災害ボラセン運営ボランティア・多摩市社協の新任役職員等に「育成講座」を実施。(参加者数 17 人) ●東京都と多摩市合同の総合防災訓練の開催に合わせ災害ボラセン設置・運営訓練を実施。訓練には南多摩ブロック社協(八王子、日野、稲城、町田)の職員や東社協の職員や NPO 団体、地域の視覚・聴覚など障がいのある市民が参加した。 訓練後、総合防災訓練の会場まで「防災まち歩き」を行った。(参加者数 118 人) ●訓練の参加者や青年会議所の会員の新たに災害ボラセン運営ボランティアとして加入した。(加入数 2 人 合計 50 人) ●台風 19 号の被害により設置された八王子市災害ボランティアセンターの運営に職員を派遣する他、登録ボランティア数人が八王子市で活動を行った。 		

取り組み	NO. 3-3-2 「要配慮者からのメッセージ」の改訂及び周知		
内 容	災害時に要配慮者がおかれている状況や支援方法をまとめた冊子の内容を当事者の方の意見を取り入れながら見直すとともに、関係機関と連携して市民への周知を図ります。さらに、地域防災の取り組みでこの冊子を活用することで、地域での要配慮者の支援体制の充実に繋がるよう住民の方々と一緒に考えます。		
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	●関連機関と連携して市民へ周知	●冊子の見直し検討 ●地域の支援体制についての協力	●冊子の改訂・充実 →
令和元年度 事業計画 (実施目標)	【ボランティア担当】 ●冊子内容の見直し結果を反映させて冊子の改訂を行う。 ●まちづくり推進担当、市役所防災安全課等と連携をして、防災訓練等で冊子の周知・配布し、地域の自主防災組織に働きかける。 ●作成に協力をいただいた当事者の方々が自ら冊子を活用していただけるよう、連携を図っていく。		
取組結果	●要配慮者として高齢者・障がい者・妊婦や外国人等の他に「多様な性を生きる者(LGBT)」を追加した。また「災害時要配慮者避難図上訓練 LODE」のページも追加し作成した。 ●東京都多摩市合同の総合防災訓練や地域福祉推進委員会を通して、各地域へ冊子を 800 部配布し、要配慮者支援の啓発を行った。		

3-4 情報発信の強化

○ふくしだよりをはじめ、インターネットやSNSなど多様な情報媒体の活用による福祉情報の発信体制を強化します。

取り組み	NO.3-4-1 社協広報媒体の拡充			
内 容	多摩社協及びボランティア担当ホームページ、多摩社協発行の各種広報紙、フェイスブックなどのSNS、メールマガジンの配信など、様々な年代の方々、障がいのある方々のニーズに則した広報の充実を図ります。また、地域福祉推進委員会エリアごとの地域情報の充実や災害時に迅速に情報発信できる仕組みを構築します。			
活動計画 (年次計画)	ホームページ の充実	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
		<ul style="list-style-type: none"> ●情報コンテンツの充実 ●災害時緊急モード設定の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施 (スマートフォン対応サイトの構築) ●実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●精査 ●精査
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【総務係・ボランティア担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホームページを通じて様々な情報を適宜発信していく。 ●スマートフォンに対応したサイトなどを含めてホームページ全体を精査するため、メルマガなどを通じてホームページに関する意見を募り、市民にとってわかりやすいホームページとなるようさらなる見直し検討を行う。 ●実際に被災地で開設されている災害ボランティアセンターのホームページ開設状況などを参考に、さらなる精査を行い、いざというときに円滑に情報発信できるよう備えていく。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●KDDI に災害時における通信回線等に関する協力をいただけることになり、災害ボラセン設置・運営訓練時に、災害用の無料 Wi-Fi「00000Japan」を運用して SNS へ情報を発信した。 ●災害ボラセン設置・運営訓練と防災まち歩きの様子を、SNS を活用し発信した。 			
活動計画 (年次計画)	広報紙の拡充	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
		<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしだよりのデイジー化 ●多摩社協発行各種広報紙の情報一元化の 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施 	→

		検討 ●地域福祉推進委員会エリアごとの地域情報の拡充		
令和元年度事業計画(実施目標)	【まちづくり推進担当】 ●各地域福祉推進委員会で広報紙を発行し、地域情報を充実させ地域に発信していく。 ●社会資源マップを作成し、地域内のサロンや介護予防教室の情報集約し、地域住民へ周知する。 【総務係】 ※各種広報紙情報の一元化については、検討した結果、定期的な情報発信については、メールマガジンに一元化して配信することとした。			
取組結果	●全ての地域福祉推進委員会で地域住民と連携し、広報紙を作成。地域のサロン紹介や団体の紹介、地域イベントの周知など、地域の特性に合わせた内容で発信した。 また、昨年度作成したエリアごとの社会資源マップを更新するとともに、全市版通いの場マップを作成、地域内のサロンや認知症カフェなどの情報を集約し、発信した。さらに、ホームページに通いの場情報を掲載し、地域住民や関係機関に情報を届けられるよう内容の充実を図った。			
活動計画(年次計画)	SNSの活用	平成 29 年度(2017 年度)	平成 30 年度(2018 年度)	令和元年度(2019 年度)
		● Facebook 活用の検討(システムの整備・設置)・実施 ●多摩社協メールマガジンの検討・配信	●精査 ●精査	●実施 ●実施
令和元年度事業計画(実施目標)	【総務係】 ●30 年度は活動情報を一元化して、メールマガジンを定期配信することが定着した。また災害ボラセンに関する Facebook も公開を開始、今後は Facebook ページの更新も定期的実施し、広報活動としての定着を図ることで、31 年度は、タイムリーな情報発信をメールマガジンや Facebook を通じて行う。 ●閲覧者からの情報収集なども行いながら、内容を精査し充実を図っていく。			

取組結果	<ul style="list-style-type: none">●災害ボラセンの Facebook 管理アカウントを活用しての情報発信を継続して実施、災害ボランティアセンター設置訓練の状況について発信するほか、台風大雨の警報等の情報を適宜発信した。●メールマガジンは、多摩社協の広報紙（ふくしだより、ボランティア通信、総合福祉センターだより）を一元化し、毎月 15 日に配信したほか、臨時号として、災害復興ボランティア募集や新型コロナウイルスによる事業中止等についてのお知らせを配信した。
------	---

3-5 多様なサービスの提供

○地域住民の福祉ニーズの把握を行い、地域住民が適切なサービスの利用や活動への参加ができるよう、社協受託事業を中心とした福祉サービスの提供体制づくりを推進します。

取り組み	NO.3-5-1 老人福祉センターの充実			
内容	高齢者が充実した生活を送るために、健康増進・生きがい作り事業を実施するほか、今までの生活で得た知識や経験をボランティア活動や地域活動等に活かせるよう、社会貢献活動の情報提供や活動につながる講演講座等を実施します。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	高齢者の健康増進・いきがいを目的とした講座の充実	●年間 20 講座以上、うち新規講座 2 講座以上	●高齢者の虚弱予防に関する講座を新規に実施。	●男性の参加を促す取組みを行う。 ●終活への取組みとしてエンディングノートを作成し配布する。
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【センター係（高齢担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関心が高く、受講希望者の多い体操系の講座を増やすとともに、男性の参加者を増やす取組みを行う。 ●新たに通年の語学講座を開講し、関心が高まる東京オリンピックに合わせ、生きがい作りの一環として国際交流の促進を図る。 ●フレイル予防事業の継続で、オーラルフレイルに関する事業を実施。参加者が食の栄養や口腔ケアについて学び、自身の健康への関心を高める機会とする。 ●高齢化、高齢者の単身化が進む中、終活への取組みを行う。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●寿大学の語学系としてハングル講座（通年）、健康系としてボディコンディショニング講座（前期）を新たに取り入れた。男性限定の講座や募集枠への希望者も増え、徐々に男性（高齢者）の社会参加の機会につながってきている。 ●TFPP（TAMAフレイル予防プロジェクト）を9月に実施し、館内利用者を中心に57人の参加があった。前年度に引き続き、エンディングノートを2,000部発行・配布するとともに、ノートの活用と終活への啓発講座を南なん亭で実施した。 			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)

	<p>社会貢献活動に参画する機会の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動・地域活動につながる講演講座の実施（年間2講座以上） ● 同好会（自主活動グループ）のボランティア活動・地域活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動・地域活動きっかけ講座の実施。 <p style="text-align: center;">→</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動・地域活動きっかけ講座の実施。 ● 同好会活動者とボランティアニーズのマッチング。
<p>令和元年度事業計画（実施目標）</p>	<p>【センター係（高齢担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域生活を支援する有償活動の説明会やボランティアポイント、シニア版ボランティア活動紹介などを行い、様々な地域活動を知る機会を増やし、地域活動へ参加するきっかけをつくる。 ● 寿大学卒業生や同好会活動者にボランティア活動等の紹介を行うとともに、実際のボランティアニーズと同好会活動のマッチングを行い、具体的な活動に結びつくようコーディネートする。 			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 7月に「社協の有償活動合同説明会」を実施。参加者9人。うち4人が活動者として登録した。 ● 主として、演奏関係の同好会はイベントや福祉施設でのボランティア活動の機会を得ている。創作関係の同好会はボランティア活動には結びつくケースはなかった。ボランティア登録や紹介冊子の掲載などに関心のある活動者もあり、情報提供を行った。 			

取り組み	NO.3-5-2 地域活動支援センター（障がい者福祉センター）の充実			
内 容	地域活動支援センターの充実によるサービスの利用拡大や地域活動への参加を進めるとともに、関係機関と連携した障がい理解の機会の提供を行います。また、また、障がいのある方と家族の安心のために「親なきあと」のことについて一緒に考えます。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	利用者のニーズに沿った活動やツールの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●音声・拡大読書機やタブレット等の利用支援や窓口での活用 ●高次脳機能障がい者向けのプログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●継続 ●継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信の強化
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【センター係（障がい担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●センターだよりに掲載されている情報などを障がい当事者の方に広く届けることができるよう、広報媒体や方法を工夫・拡充する。 ●自宅に引きこもりがちの方が家以外の活動に参加するきっかけとなるような機会の提供を、関係者や関係団体へヒアリングを行いながら引き続き実施する。 ●高次脳機能障がい者を対象としたグループ活動（月 1 回）が定着しつつあるため、新たな活動の取り入れや、ボランティアとのかかわりなどを増やしていく。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●センターだよりの配布先を拡大。市内障がい福祉サービス事業所や病院など 31 ヲ所に毎月送付、当事者への周知と利用者拡大を行った。 ●ひきこもり家族会の立ち上げ・運営支援を行うとともに、家族会と協力し、定期的な情報交換会や日頃孤独になりがちな当事者や家族を対象としたヨガセラピーを実施し、心身のリラクゼーションの機会を提供した。 ●高次脳機能障がい者を対象としたグループ活動では音楽療法とゲーム等取り入れ交流をする場を継続することができた。 			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
	将来安心した生活を送るための相談会等の実施	●親なきあと相談会の検討・実施	●親なきあと相談会の検討・実施 (年 12 回)	●実施

令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【センター係（障がい担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政書士を講師として、年間 12 回程度の「親なきあと相談会」を実施する。 ●当事者や家族、支援者に役に立つ情報を提供することで親なきあとの不安の解消につなげていく。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●年 9 回、「親なきあと相談会」を実施した。（延べ相談者数 18 人）当事者とその家族の親なきあとの不安に関する相談を受け、身近な地域で専門家から助言を受ける機会を提供した。相談内容は権利擁護センターや相談支援事業と共有を行った。 			
活動計画 (年次計画)	プログラムを通じたボランティアの育成と障がい者理解の促進	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水浴訓練室等でのボランティア育成 ●防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力及びボランティアの育成（年 5 回） ●関係機関と連携した地域での障がい者理解の機会の提供 	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●継続 ●継続 ●継続 	<p>令和元年度 (2019 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水中運動ボランティアの他に、グループ活動にかかわるボランティア講座や学習会等を実施 <p style="text-align: right;">→</p>
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<p>【センター係（障がい担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水浴訓練室等でのボランティア講座の他、高次脳機能障がい者のグループ活動にかかわるボランティア講座や学習会等を実施。 ●防災訓練や福祉イベント等での障がい者理解の啓発の他、学校等での障がい者理解について、要望に合わせたプログラムを提案し実施する。 ●当事者や団体等と連携し、高次脳機能障害ミニ講座や当事者による障害者差別解消法の解説など様々なテーマで、地域での障がい理解の機会を提供する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●プールボランティア養成講座は職員体制が整わず、未実施。次年度は、ニーズに応じて、募集をし、必要時に実施していく。 ●多摩中避難所宿泊訓練にて、車椅子体験・視覚障がい者疑似体験を実施した。避難所における障がい者のサポート方法の習得と体験を通じて障がい者理解を促進した。 ●新たに、月 1 回、唐木田児童館にて幼児を対象とした「ことばの 			

	<p>相談」を実施、言語聴覚士が出張し保護者とコミュニケーションをとりながらことばに関する相談を受けた。また、必要に応じて福祉センターでの言語訓練へつなげることとした。</p>
--	--

取り組み	NO.3-5-3 障害福祉サービスの提供			
内 容	同行援護・意思疎通支援等、その人に必要な多様なサービスの提供と、他機関との調整・連携を行います。			
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
令和元年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●同行援護従事者派遣事業の推進 ●意思疎通支援事業（手話通訳者派遣・要約筆記者派遣）の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●適切なサービスの提供 ●社会参加の促進 ●他機関との連携による利用者支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーター連絡会に参加等情報を得る。 ●継続 ●継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●同行援護従事者の積極的な募集 ●継続
取組結果	<p>【センター係（障がい担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同行援護従事者について、引き続きチラシ配布やふくし便りを通じた募集の他、地域活動を始めたい人向けのイベントなどで積極的に募集活動を行う。 ●技術や制度の現状等の内部研修を実施し、活動者のスキルアップを図り、サービスの質を高める。 ●派遣調整を行う事業所によるコーディネーター連絡会に参加し、情報交換を行い、適切なサービスを提供していく。 <ul style="list-style-type: none"> ●意思疎通支援事業関係職員向け研修、同行援護フォローアップ研修、多摩地域の社協においての同行援護事業担当者連絡会に参加し、情報収集を行った。 ●同行援護事業では、利用者延べ 315 人に対し年間 1,692 回の派遣を行った。同行援護従事者登録者の増加を目的に、募集のチラシ作成・配布を年間通じて行い、新たに 4 人の登録があった。 			

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (H31. 4. 8)	第7回 (R1. 10. 31)
第2回 (R1. 5. 23)	第8回 (R1. 12. 5)
第3回 (R1. 7. 4)	第9回 (R1. 12. 26)
第4回 (R1. 8. 6)	第10回 (R2. 2. 7)
第5回 (R1. 8. 30)	第11回 (R2. 2. 27)
第6回 (R1. 10. 4)	

令和2年3月31日現在の役員・評議員の状況

	理事	監事	評議員
定数	10～15	2	30～35
現員数	13	2	33

(2) 理事会の開催

第1回 (R1. 6. 6)	出席者 14名
【審議事項】	
第1号議案	市民後見人候補者の登録及び活動事業に関する要綱の制定について
第2号議案	令和元年度職員勸奨退職実施要綱の制定について
第3号議案	第23期評議員選任候補者の推薦について
第4号議案	平成30年度事業報告について
第5号議案	平成30年度決算について
第6号議案	令和元年度補正予算について
第7号議案	令和元年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
第2回 (R1. 6. 24)	出席者 13名
第8号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会会長の選定について
第9号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会副会長の選定について
第10号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会常務理事の選定について
第3回 (R1. 9. 19)	出席者 13名
第11号議案	就業規則の一部改正について
第12号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第4回 (R2. 1. 16)	出席者 12名
第13号議案	給与規定の一部改正について
第14号議案	役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
第15号議案	常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について
第16号議案	令和元年度補正予算について
第17号議案	第23期評議員選任候補者の推薦について
第18号議案	令和元年度第2回評議員の招集について
第5回 (R2. 3. 12)	出席者 12名
第19号議案	成年後見制度利用者支援業務の受託について
第20号議案	定款の変更について
第21号議案	就業規則の一部改正について
第22号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第23号議案	臨時職員雇用規則の一部改正について
第24号議案	給与規則の一部改正について

第 25 号議案	役員選任規定の一部改正について
第 26 号議案	小口資金貸付事業の不能欠損処理について
第 27 号議案	補正予算について
第 28 号議案	常務理事の選定について
第 29 号議案	第 4 次地域福祉活動計画後期計画について
第 30 号議案	令和 2 年度事業計画について
第 31 号議案	令和 2 年度予算について
第 32 号議案	令和元年度第 3 回評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

第 1 回 (R1. 6. 24)	出席者 33 名
第 2 回 (R2. 1. 27)	出席者 26 名
第 3 回	書面決議

(4) 監査の概要

第 1 回 (平成 30 年度決算監査)	(R1. 5. 16)	出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。		
第 2 回 (令和元年度中間決算監査)	(R1. 11. 2)	出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。		

(5) 各委員会の活動報告

地域福祉活動計画推進委員会		
開催状況	第 1 回 (R1. 7. 31)	出席者 9 名
	第 2 回 (R1. 9. 27)	出席者 9 名
	第 2 回 (R1. 12. 3)	出席者 8 名
	第 2 回 (R2. 2. 27)	出席者 8 名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会		
開催状況	第 1 回 (R1. 5. 20)	出席者 10 名
	第 2 回 (R1. 8. 5)	出席者 8 名
	第 3 回 (R1. 10. 21)	出席者 10 名
	第 4 回 (R1. 12. 19)	出席者 11 名

権利擁護センター運営委員会		
開催状況	第 1 回 (H31. 4. 26)	出席者 6 名
	第 2 回 (R 1. 8. 23)	出席者 6 名
	第 3 回 (R 2. 3. 6)	出席者 5 名
役員選考委員会		
開催状況	第 1 回 (R 1. 6. 17)	出席者 8 名
	第 2 回 (R 2. 1. 23)	出席者 6 名

苦情解決第三者委員会		
開催状況	第 1 回 (R 1. 8. 8)	出席者 3 名

(6) 各部会の活動報告

総務部会			
開催状況	第1回	(R 1. 5. 31)	出席者 9名
	第2回	(R 2. 2. 21)	出席者 8名

広報広聴部会			
開催状況	第1回	(H31. 4. 16)	出席者 9名
	第2回	(R 1. 6. 18)	出席者 9名
	第3回	(R 1. 8. 20)	出席者 7名
	第4回	(R 1.10. 21)	出席者 8名
	第5回	(R 1.12. 9)	出席者 7名
	第6回	(R 2. 2. 10)	出席者 8名

イベント推進部会			
開催状況	第1回	(R 1. 5. 16)	出席者 9名
	第2回	(R 1. 9. 26)	出席者 8名
	第3回	(R 1.11. 28)	出席者 7名
	第3回	(R 2. 1. 30)	出席者 7名

地域福祉まちづくり部会			
開催状況	第1回	(R 1. 6. 14)	出席者 14名
	第2回	(R 1. 9. 26)	出席者 11名
	第3回	(R 2. 2. 5)	出席者 12名

部会連絡会			
開催状況	第1回	(R 1.12. 13)	出席者 8名

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	27	28	29	30	R1
後援名義使用許可件数	33件	23件	25件	24件	27件

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

年度	29	30	R1
登録者数	23人	23人	26人

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
27	6	H27. 8. 3～9. 11 (24日)2人	大妻女子大学
		H27. 8. 3～9. 1 (18日)1人	大妻女子大学
		H27. 10. 2～11. 10(24日)1人	明星大学
28	5	H28. 2. 1～3. 7 (24日)2人	大妻女子大学
		H28. 8. 1～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H28. 10. 3～11. 15 (24日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H29. 2. 1～3. 8 (24日) 1人	大妻女子大学
29	5	H29. 8. 1～9. 6 (24日) 2人	大妻女子大学
		H29. 10. 5～11. 27 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H30. 2. 7～3. 15 (24日) 1人	大妻女子大学
30	5	H30. 8. 6～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H30. 10. 1～11. 25 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H31. 2. 5～3. 11 (24日) 1人	大妻女子大学
R1	4	R1. 8. 7～9. 10 (24日) 1人	大妻女子大学
		R1. 10. 1～11. 11 (24日) 1人	武蔵野大学
		R1. 10. 1～11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R2. 2. 3～3. 9 (24日) 1人	東海大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
27	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
28	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
29	1	ボランティア活動をはじめるにあたって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
30	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R1	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
27	年 6 回 発行 (5・7・9・ 11・1・3 月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングによる全戸配布（平成 25 年度から実施） ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付（録音テープ、デイジー版（29 年度より実施）を視覚障がい者に送付） 	タブロイド版 70,000 部	543,000	4,601,876
28				397,000	3,674,987
29				300,000	3,408,749
30				455,000	4,793,591
R1				396,150	4,901,740

(2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等 収入	バザー 経費	収益額	備考
27	27. 10. 18(日)、 28. 2. 24(水) ～27 (日) 10:00 ～15:00	総合福祉 センター	678,401 (643,711)	41,256	638,645	福祉フェスタ、春の発表 会、福祉大会の開催日に 合わせて実施
28	28. 10. 16(日)、 29. 2. 22(水) ～25 (土) 10:00 ～15:00		734,905 (570,365)	64,984	669,921	
29	29. 10. 15(日)、 30. 2. 21(水) ～24 (土) 10:00 ～15:00		693,265 (673,915)	83,392	609,873	
30	30. 10. 21(日)、 30. 2. 20(水) ～22(金) 10:00 ～15:00		612,131 (599,331)	20,038	592,093	福祉フェスタ、春の発表 会の開催日に合わせて実 施
R1	R1. 10. 20(日)、 10:00 ～15:00		412,721 (295,500)	32,438	380,283	福祉フェスタ開催日に合 わせて実施

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附品の販売等その他収入を含む。

() 内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
27	27. 10. 18(日) 10:00 ～16:30	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	約 4,000 人 ※天候：晴	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん ・東日本大震災復興支援フェア ・特別企画「被災地復興の現状について」（講演：石巻元気復興センター）、「ライブ手話ソング」（出演：水戸真奈美氏） 	協賛・協力：32 団体 参加：54 団体 協力者（ボランティア）74 人
28	28. 10. 16(日) 10:00 ～15:30		約 4,500 人 ※天候：くもり	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：27 団体 参加：63 団体 協力者（ボランティア）62 人
29	29. 10. 15(日) 10:00 ～15:00		約 4,200 人 ※天候：雨	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・多摩市共催 地域福祉フォーラム ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：28 団体 参加：65 団体 協力者（ボランティア）71 人
30	30. 10. 21(日) 10:00～15:00		約 4,300 人 ※天候：晴	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施） ・就活応援セミナー、フードドライブ受付 ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：15 団体 参加：55 団体 協力者（ボランティア）63 人
R1	R1. 10. 21(日) 10:00～15:00		約 4,000 人 ※天候：曇	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施） ・ボランティア・地域活動見 	協賛・協力：16 団体 参加：52 団体 協力者（ボランティア）53 人

				本市 in 福祉フェスタ 2019 ・障がいスポーツボッチャ体験会 ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん	
--	--	--	--	--	--

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	参加者
27	28. 2. 27(土) 10:00 ～16:30	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	<ul style="list-style-type: none"> 福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表、無料映画上映会 式典(表彰者：個人 20 人、感謝状：個人 5 人、18 団体、東京都共同募金会多摩地区協力会感謝状：4 団体) 多摩市医師会会長(田村豊氏)による講演：「医療と福祉の連携～いつまでも元気で楽しく暮らしていくには～」 協力：1 団体、参加：21 団体	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 38 人 来賓者 19 人 来場者 1,800 人
28	29. 2. 25(土) 10:00 ～16:00		<ul style="list-style-type: none"> 福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 式典(表彰者：個人 30 人、6 団体) 感謝状：個人 8 人、14 団体) 第 4 次地域福祉活動計画概要報告 映画「無念」チャリティ上映会 協力：1 団体、参加：32 団体	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 39 人 来賓者 20 人 来場者 1,800 人
29	30. 2. 24(土) 10:00 ～15:00		<ul style="list-style-type: none"> 福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 バリアフリー映画上映会 式典(表彰者：個人 27 人、4 団体) 感謝状：個人 5 人、16 団体) 平成 29 年度事業報告 フラダンス同好会ステージ発表 協力：1 団体、参加：25 団体	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 36 人 来賓者 21 人 来場者 1,000 人
30	31. 2. 9(土) 13:00 ～16:45	パルテノン多摩小ホール	「法人化 45 周年平成 30 年度福祉大会」 <ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰式典及びミニコンサート(表彰者：個人 26 人、10 団体) 感謝状：個人 31 人、204 団体) 子どもの貧困に関する講演会 講師：首都大学東京子ども・若者貧困研究センター長 阿部 彩 氏 役員等研修参加者 64 人、一般参加者 212 人、行政職員等 8 人 	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 81 人 来賓者 23 人 式典/講演会延べ来場者 486 人
R1	R2. 2. 29(土) (式典中止)	永山公民館ベルブホール	<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰(表彰状：個人 16 人、9 団体、感謝状：個人 5 人、21 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 多摩市共催講演会「誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて」、多摩桜の丘学園によるアトラクションは中止 	

(5) メールマガジン配信状況

年度	29	30	R1
登録者数	810	815	765
配信回数	6	12	16

※原則毎月15日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

年度	29	30	R1	
店舗数	66	76	75	
協力 内容	募金箱	53	57	57
	広報紙	60	63	65
	自販機	7	6	5
	車椅子	4	4	7
	入歯回収	-	3	3

※平成29年度より協力内容に新たに災害用自動販売機（自販機）及び車椅子設置を追加

※平成30年度より協力内容に新たに入歯回収ボックスの設置を追加

※協力内容（内訳）の件数は延べ数

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価 (円)	27年度		28年度		29年度		30年度		R1年度	
	件数	会費	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金
個人会員 @500以上	3,497	2,377,547	3,320	2,287,211	3,302	2,457,118	3,465	2,561,440	2,997	2,229,700
団体会員 3,000以上	134	463,500	151	504,000	168	559,500	178	585,500	185	612,873
特別会員 10,000以上	95	1,075,000	102	1,245,000	120	1,385,000	118	1,467,000	112	1,345,000
合計	3,726	3,916,047	3,573	4,036,211	3,590	4,401,618	3,761	4,613,940	3,294	4,187,573

(2) チャリティーゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
27	27.6.29 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	143人	302,000	417,200	68,768	650,342	協賛： 40団体、個人5人
28	28.6.27 (月)		162人	332,000	371,400	70,987	632,413	協賛： 41団体、個人4人
29	29.6.19 (月)		165人	340,000	399,000	75,751	663,249	協賛： 46団体、個人4人
30	30.6.18 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	158人	332,000	370,600	72,497	630,103	協賛： 43団体、個人2人
	30.12.3 (月)	府中カントリークラブ	118人	592,500	234,600	374,450	452,650	協賛： 18団体、個人4人
R1	01.7.8 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	174人	352,000	343,800	97,235	598,565	協賛： 29団体、個人2人
	02.12.2 (月)	府中カントリークラブ	94人	515,000	162,800	363,720	314,080	協賛： 12団体、個人2人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	
一般寄付	6,467,146	1,209,746	2,028,021	1,270,461	1,537,622	
指定 寄付	ボランティア 基金	61,000	15,285	9,557	31,353	50,000
	ボランティア・ 市民活動支援	595,245	181,347	244,688	231,430	194,600
	小地域 福祉活動	11,122	100,000	95,000	45,879	87,538
合計	6,995,062	1,743,933	2,779,266	1,579,123	1,869,760	

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,509,000	4,869,499	74.8	6,950,000	5,916,057	85.1

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,509,000	4,345,583	66.8	6,950,000	5,167,876	74.4

(2) 福祉団体補助

① 令和元年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	13 団体 ① おしゃべりノササゲの会 ② サンクラブ多摩 ③ 多摩市失語症友の会こだま ④ 多摩市視覚障害者福祉協会 ⑤ 多摩市手をつなぐ親の会 ⑥ 多摩市遺族会 ⑦ 多摩市身体障害者福祉協会 ⑧ 多摩市手をつなぐ育成会 * ⑨ 多摩市聴覚障害者協会 ⑩ 多摩草むらの会 ⑪ プレイルームゆづり葉の家 ⑫ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ ⑬ 特定非営利活動法人暉望	(パーキンソン病患者と家族の会) (精神障がい者の家族会) (失語症当事者の会) (視覚障がい者当事者の会) (知的障がい児者と保護者の会) (遺族会) (身体障がい者当事者の会) (全日本手をつなぐ育成会加入団体) (聴覚障がい者当事者の会) (精神障がい者と家族の会) (知的障がい児者の会) (ひとり親家庭の会) (障がい者の会)
補助金額	*多摩市手をつなぐ育成会は新型コロナウイルスの影響で事業中止となったが、準備経費を一部補助。 他、特定非営利活動法人くぬぎより申請があったが、同様に事業中止となった。 総額 2,182,880 円	

② 過去5年間の状況

単位：円

	28年度	29年度	30年度	30年度	R1年度
補助団体	14 団体	15 団体	13 団体	13 団体	13 団体
補助総額	2,464,440	2,509,712	2,197,282	2,197,282	2,182,880

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000 円(年額) ※事業費(芸能大会、車椅子講習、体力測定会等)に充当

(4) 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（生活支援、見守り活動、地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
対象団体	自治会	94 団体	93 団体	94 団体	92 団体	92 団体
	管理組合	101 団体	105 団体	102 団体	100 団体	110 団体
	計	195 団体	198 団体	196 団体	192 団体	202 団体
助成団体	自治会	31 団体	36 団体	33 団体	30 団体	26 団体
	管理組合	34 団体	35 団体	34 団体	35 団体	35 団体
	計	65 団体	71 団体	67 団体	65 団体	61 団体
助成総額		1,117,700	1,286,750	1,407,550	1,175,293	960,000

単位：円

※平成30年度までは、「自治会・住宅管理組合福祉活動助成金」

※上限額：設立助成金：1 団体 5 万円（区分1のみ対象）

活動助成金：区分1…1 団体 5 万円

区分2…1 団体 2 万円

区分3…1 団体 1 万円

（平成30年度までは上限：1 団体 2 万円）

※申請受付期間：前期（区分1～区分3）…4 月 1 日～6 月 30 日（交付決定 8 月）

後期（区分1・2）…9 月 1 日～10 月 31 日（交付決定 11 月）

※令和元年度は、コロナウイルスの影響等で、全額返還した団体が 3 団体 50,000 円あり。

（全額返還については、上記の団体数及び助成総額からは除外）

(5) 自治会・住宅管理組合車椅子提供事業

自治会・住宅管理組合に車椅子を提供することにより、地域で車椅子を活用し、災害時等を含め、お互いに助け合う地域づくりを推進する。（地域福祉特定基金を活用した単年度事業として実施）

①交付実績

		30年度	R1年度
提供団体	自走用	13 団体	4 団体
	介助用	35 団体	7 団体
	合計	48 団体	11 団体
助成総額		1,086,240 円	271,920 円

②車椅子引き渡しおよび説明会

日時	令和元年 7 月 30 日（火）10:00～11:00
会場	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 704 研修室
参加者	7 団体 10 人

※説明会欠席団体については、7/31（水）～8/7（水）の間で

多摩ボランティア・市民活動支援センターにて個別に説明・引き渡しを実施。

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,188,000	4,078,390	65.90	6,221,000	4,442,349	71.40

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	7,343,000	4,831,885	65.80	7,059,000	4,127,156	58.47

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①令和元年度実績

開催会場 開催日時	① 愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～4時・9回実施) ② ひじり館 第3金曜日 (" " ・11回実施) ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～3時・11回実施) ④ 百草団地 第4水曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ⑤ トムハウス 第2火曜日 (午後12時30分～午後1時30分・9回実施) ⑥ からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～4時・9回実施) ⑦ 桜ヶ丘(サロン内) 第4木曜日 (午後2時～4時・10回実施) ⑧ 連光寺福祉館 偶数月第4火曜日 (午後2時～3時30分・5回実施) ⑨ 大栗川かるがも館 第4火曜日 (午後2時～4時・9回実施) ⑩ 諏訪福祉館 奇数月第3火曜日 (午前9時30分～11時・4回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。 居住者支援協議会と連携して、住み替え相談を開催する。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数 80件 (高齢69件、障がい7件、居住者支援4件) 事業参加者 561人(脳トレ、ミニ講座等) *前年度同期 75件 (高齢66件、障がい2件、その他7件) 事業参加者 564人
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩市役所都市整備部都市計画課、高齢支援課、地域活動支援センターあんど 権利擁護センター

②過去5年間の状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
相談件数	99	58	86	75	80

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①令和元年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・設立助成金 20,000円、活動助成金 月1回実施 5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週1回以上実施 15,000円> ・保険加入団体105団体
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
登録団体数	52	63	72	89	105
助成団体数	23	54	60	73	89
助成総額 (単位：円)	275,000	475,000	470,000	815,000	1,125,000

③ふれあい・いきいきサロン説明会

開催日時	第1回 令和元年 7月31日(水) 午前10時～11時30分 第2回 令和2年 2月18日(火) 午前10時～11時30分
会 場	第1回 関戸公民館 第2学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内 容	ふれあい・いきいきサロン・近所de元気アップトレーニングの概要、登録の流れについて説明 サロン活動体験談 第1回 にじの会 第2回 鶴5ふれあいサロン
対象者	多摩市民
参加者	第1回 10人 第2回 3人

④サロン交流会

開催日時	令和2年 2月 6日(木) 午後2時～4時
会 場	二幸産業・NSP健幸福祉プラザ 7階研修室、705会議室、ボランティア活動室
内 容	令和2年度サロン登録および助成金申請の手続きに関する説明 サロン交流会(サロン活動の動向、社会福祉法人や企業による地域貢献活動(出前講座)の紹介・体験、情報交換)
対象者	多摩市民
参加者	サ ロ ン 54団体 78人 関係機関 7人(地域包括支援センター) そ の 他8人(紹介団体等)

令和元年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア) 本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	毎週月・水・金曜日、 第1火曜日、第3木 曜日、第1土曜日	H21	無
3		関戸みのり会	関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目)	隔月第1木曜日	H25	無
4		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所	毎週水曜日	H27	有
5		関戸さくら会	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第1月曜日	H24	有
6		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
7		3丁目かわせみ会	関戸3丁目集会所	毎月第3月曜日	H28	無
8		みんなの食堂 スプーン	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第3月曜日	H29	無
9		サロン・フランヴィーヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜 ヶ丘2階カフェ	①毎月第3金曜日 ②第1・3水曜日	H29	有
10		サロンまちの縁側	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎週木曜日	H30	有
11		みのり会	関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目)	第2・4火曜日	—	有
12		地域交流スペース やどり木	個人宅(関戸2丁目)	第2・4金曜日	R1	有
13		マドカ・ストレッチ体操 サロン	多摩中学校クラブハウス	毎週木曜日	—	有
14		1・2・3・4いきいき体 操	桜ヶ丘一ノ宮集会所(一 ノ宮4丁目)	毎週木曜日	R1	有
15		桜ヶ丘近トレ	あいフィットネスサロン さくら地域交流室(関戸 1丁目)	毎週火曜日	R1	有
16	②	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	①毎月5日・20日 ②毎週木曜日	H20	有
17		京王一ノ宮サロン	京王一ノ宮集会所 (連光寺4丁目)	毎週木曜日	H21	有
18		にじの会	向ノ岡集会所 (連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
19		ふれあいサロン 「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3集 会所	毎月第3木曜日	H22	有
20		聖ヶ丘2丁目東サロン “気まま会”	エステート聖ヶ丘2丁目 東団地集会所	毎週火・水・金・日 曜日、毎月第4土曜 日	H22	無
21		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	①毎週月曜日 ②毎月第4土曜日	H23	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
22	②	サロン・ボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週水・日曜日、毎月第1・4木曜日、第3火曜日	H24	有
23		いきいきローズ	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎週水曜日	H27	有
24		木の実サロン	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有
25		ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	①毎週水曜日 ②毎月第3金曜日	H27	有
26		日の出サロン	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎月第3木曜日	H28	無
27		聖ヶ丘ふれあいサロン	多摩ニュータウン聖ヶ丘団地集会所(聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	H11	有
28		連光寺東部健幸サロンわわわ(我和輪)	連光寺東部集会所(連光寺6丁目)	毎週木曜日	H29	有
29		サロンひなの会	連光寺志学サロン(連光寺2丁目)	毎月第1・3水曜日	H30	有
30		ふらっと亭	ひじり館(聖ヶ丘2丁目)	毎月第2木曜日	H30	有
31		金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日	H30	有
32		聖ヶ丘2丁目-西ニコニコ・サロン	エステート聖ヶ丘-西団地集会所(聖ヶ丘2丁目)	①第1・3日曜日 ②第2・4火曜日	R1	有
33		③	桜が丘まちネットにこにこサロン	桜ヶ丘集会所(桜ヶ丘1丁目)	毎週木曜日	H24
34	コスモスの会		あいクリニック(貝取)	毎週金曜日	H30	有
35	④	もぐさ井戸端サロン	三方の森コミュニティ会館	毎月第2水曜日	H15	無
36		三方の森ふれんど広場	三方の森コミュニティ会館	毎月第2土曜日	H28	有
37		ラダー三方の森	三方の森コミュニティ会館	毎月1・3火曜日	H30	有
38		ふらっと東寺方	東寺方地区市民ホール	毎週水曜日	H30	有
39		東寺方健やかサロン	東寺方自治会館	毎月第一月曜日	R1	有
40	⑤	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40団地集会所	①毎週水曜日 ②毎月第2土曜日	H23	有
41		あたご村いどばた会	愛宕2丁目住宅管理組合集会所	毎月第3木曜日	H26	有
42		愛宕第一住宅サロン	愛宕第一住宅集会所(愛宕1丁目)	毎週水・土曜日	H26	有
43		はなもものつどい	グリーンヒル貝取1-28団地集会所	毎月第2木曜日	R1	有
44	⑥	やまももの会	ホームタウン諏訪集会所	毎月第3土曜日	H16	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
45	⑥	ひまわりの会	個人宅(諏訪2丁目)	毎月第2・3木曜日	H26	有
46		F棟みまもりサポート	諏訪2-4F棟	毎月第3木曜日	H28	無
47		ブリリア諏訪2丁目 イキイキ健賢会	諏訪2-2C棟	毎月第1・3火曜日	H29	有
48		軽々体操	諏訪5丁目会館	毎週月曜日	H29	有
49		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所 (諏訪3丁目)	毎週火・木曜日	H30	有
50		はなみずき近トレクラブ	タウンハウス諏訪集会所 (諏訪3丁目)	毎週月曜日	H30	有
51		のんびり馬引沢	馬引沢団地自治会館(馬引沢2丁目)	毎月第1水曜日または土曜日	R1	有
52		ブリリア月曜会	諏訪2-2C棟	毎週月曜日	R1	無
53	⑦	永山3-1ふれあい	永山3-1集会所	毎月第3木曜日	H15	無
54		健康麻雀友の会	東永山複合施設	毎週火・木・土・日曜日	H17	無
55		瓜生サロン	瓜生集会所 (永山6丁目)	①毎月第3火曜日 ②毎月5日	H21	有
56		いきいきサロン・メゾネット永山	メゾネット永山5団地集会所	毎月第1火曜日	H24	有
57		サロン5-21	タウンハウス永山5集会所	①月1回(不定期) ②毎週月曜日	H27	有
58		ネットワーク永山 「体操サロン」	東永山複合施設	毎月第2水曜日	H28	有
59		すいすいサロン	永山東集会所(永山4丁目)	毎週水曜日	H30	有
60		Ma y uサロン	多摩市音訳グループ 事務所(永山2丁目)	毎月第4土曜日	H30	有
61		ラウンジ永山	永山西集会所Eラウンジ (永山4丁目)	毎週火曜日	H30	有
62		瓜生元気アップトレーニング	瓜生集会所(永山6丁目)	毎週月曜日	H30	有
63		いきいきサロン夢の会	東永山複合施設	毎週火・水・日曜日	H30	有
64		エステート永山近トレ教室	エステート永山3団地集会所	毎週月曜日	R1	有
65		3の2近トレサロン	永山3-2集会所	毎週水曜日	R1	有
66		アイ♪ビ	個人宅(永山2丁目)	第1・3水曜日	R1	有
67	⑧	月曜会	グリーンメゾン貝取2集会所	毎月第1・3月曜日	H1	有
68		豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	良い曜日を選んで開催	H9	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
69	⑧	碁楽会	豊ヶ丘地区市民ホール	毎週月・水・金・土曜日	H15	有
70		豊ヶ丘4-1 ふれあいおしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1 集会所	毎月第2水曜日	H16	有
71		ふれあいサロン 『木の葉』	豊ヶ丘5-1 集会所	毎月第3金曜日	H18	有
72		みのりの会	貝取2-10 団地集会所	第1木・第3金曜日	H18	無
73		豊ヶ丘3-3 ふれあい会	豊ヶ丘3-3 集会所	毎月第1月曜日	H19	無
74		ふれあいサロン貝取4-4	貝取4-4 集会所	毎月第2土曜日	H21	有
75		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	有
76		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2 住宅管理組合集会所	①1か月前にスタッフ会議で決定 ②毎週水曜日	H25	有
77		南野カフェ	パルシステム東京 多摩センター交流ルーム	毎週月曜日	H28	有
78		いきいきサロン「げんき会」	貝取・豊ヶ丘集会所	毎月第3土曜日	H28	有
79		サロン・ふれあい貝取	貝取こぶし館	毎月第2土曜日	H29	有
80		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目)	毎週水曜日	H30	有
81		コーヒータイム	エステート豊ヶ丘2-6集会所	毎月第3水曜日	R1	有
82		元気アップサロン	貝取こぶし館	毎週水曜日	R1	有
83		GM2シニア会	グリーンメゾン貝取2集会所	毎週水曜日	R1	有
84		⑨	グリーンメゾン鶴牧3環の会	グリーンメゾン鶴牧3集会所	①毎週木曜日 ②第1・3土曜日、第3日曜日	H15
85	三々五々の会		落合3-3集会所	①毎月第1水曜日 ②月1回(不定期)	H19	無
86	ブリリアシニアの会		ブリリア多摩センター パーティールーム(鶴牧3丁目)	毎月第3水曜日	H20	有
87	落合4の3園芸有志会		落合4-3集会所、落合第4公園	①第1・3土曜日 ②第2・4日曜日	H22	有
88	鶴三会		タウンハウス鶴牧3集会所	毎月第3木曜日	H24	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
89	⑨	木曜サロン	落合 3-4 集会所	毎週木曜日	H25	有
90		鶴 5 東町会親睦会	鶴牧 5 丁目集会所	①毎週第 4 火～金で 1 回 ②毎月第 2 月曜日	H25	有
91		落合 4 の 3 おはなし会	落合 4-3 集会所	毎月第 2・4 火曜日	H27	有
92		「喫茶くすのき」	タウンハウス鶴牧 4 集会所	毎月第 4 木曜日	H27	有
93		ふれあい サロン 結	落合 4-4 集会所	毎週水曜日	H27	有
94		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地集会所	第 2 火曜日・第 4 月曜日	H28	有
95		南野 3 丁目ふれあいサロン	南野 3 丁目集会所	毎月第 3 土曜日	H28	有
96		たまデフサロン	東永山複合施設、総合福祉センター	毎月第 3 月曜日	H29	有
99		落合 3-5 自治会コミュニティサロンあいあい	落合 3 丁目住宅集会所	毎週木曜日	H30	有
98		ツル 4 近トレ会	タウンハウス鶴牧 4 集会所	毎週水曜日	H30	有
99		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合 5 集会所	毎週金曜日	H30	有
100		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア	毎週火曜日	H30	有
101		鶴 5 ふれあいサロン	鶴牧 5 丁目集会所	①毎週水曜日 ②第 1・3 土曜日	R1	有
102		OGB 会 (落合活き生きサロン)	落合 D ブロック集会所	毎週月曜日	R1	無
103	⑩	ハイライズタウン親睦の会	ハイライズタウン鶴牧 6 集会所	毎月第 2 日曜日	H19	有
104		アルテ体操の会	アルテヴィータマンション内コミュニティリビング (鶴牧 1 丁目)	毎週水曜日	H30	有
105		中沢近トレの会	エステート中沢集会所 (中沢 2 丁目)	毎週水曜日	R1	有

イ) 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会集会所	第2水曜日	H9	
2		歌の輪サークル	グリーンメゾン諏訪集会所	第2・4火曜日	H23	元社協登録サロン
4	⑦	エステート永山-3 “ふれあいサロン”	エステート永山3集会所	①毎週金曜日 ②毎月最終土曜日	H19	
5		さくらカフェ	永山3-2集会所	毎月第1月曜日	H30	元社協登録サロン
5		永山ハイツ体操クラブ	永山ハイツ集会所	毎週月曜日	H30	
6	⑨	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週月・火曜日	H8	

ウ) 諏訪支部によって実施されているサロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	茶話会(諏訪2丁目)	諏訪2丁目住宅管理組合集会所	第1火曜日	H17	
2		茶話会(諏訪5丁目)	諏訪5丁目自治会集会所	第1木曜日	H18	
3		茶話会(諏訪1丁目)	永山ハウス	第3木曜日	H20	

エ) ラウンジ

(サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	諏訪4丁目 ふらっとラウンジ	諏訪4丁目自治会 談話室とその周辺	毎週月曜日、 第1・3・5金曜日、 第2・4土曜日	H19	
2		諏訪5丁目 ぶらっとラウンジ	諏訪5丁目集会所と その周辺	毎週土曜日	H21	

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 令和元年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関戸 *委員会：6回開催 ：延べ76団体96人参加 *世話人会：5回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 〔定例の委員会内での取り組み〕 ※定例の委員会では、事業の進捗確認と情報交換を実施。 〔委員会企画事業〕 <交流事業> ・ホテル観賞交流会（真堂が谷戸）[6月]:29人参加。 ・世代間交流事業：野点[6月]:多摩中との連携。 ・世代間交流事業：流しそうめん[8月]:多摩中との連携。約370人参加。 ・多摩中学校避難所宿泊訓練への参加協力[10月] ・つむぎ館まつり出展[11月]:まちの縁側 ・世代間交流事業：芋煮会[12月]:多摩中との連携。約180人参加。 ・世代間交流事業：万葉の遊び[2月]:多摩中との連携。62人参加。 ※コロナウイルスのため、せきどしゃべり Ba[3月]は中止。 <まち歩き> ・関戸まち歩き瓜生緑道、瓜生緑地コース実施[5月]:12人参加。 ・関戸まち歩き関戸再発見コース実施[11月]:20人参加。 <防災企画> ・防災企画第4弾「災害図上訓練LODE」[1月]:34人参加。 <講演会（認知症・障がいについて知る事業）> ・「認知症は他人ごと？自分ごと？～心にやさしい認知症講座」[9月]:参加者30人。認知症ケア町田ネット（町田市）に講師を依頼。 *広報紙：「まちネット・関戸だより」 第10号 [9月] 600部発行 ※第11号 [3月予定]は発行延期。 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力：10回実施。 多摩第一小学校 PTA との打ち合わせ：1回実施。 *サロン交流会 関戸・一ノ宮（第1エリア）のサロン交流会を関・一つむぎ館にて開催。 13サロン20人が参加。[12月] *新規サロン登録：「みのり会」「地域交流スペースやどり木」「マドカ・ストレッチ体操サロン」「1・2・3・4いきいき体操」「桜ヶ丘近トレ」 *地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力 10月に地域住民有志により企画・実施された地域交流事業「関戸楽縁祭」への参加及び協力。楽縁祭の来場者は200人。 <一ノ宮エリア> *地域事業（ふれあい・おとなりサンデー）への参加及び協力 登録サロン「たまりばらんど」が4月に企画・実施した地域交流事業「おとなり・ふれあいサンデー」への参加及び協力。来場者は73人。</p>

第2エリア
(連光寺・聖ヶ丘)

■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会

*委員会：5回開催

：延べ140団体221人参加

※コロナウイルスの影響で1回中止

*世話人会：10回開催

※コロナウイルスの影響で1回中止

*オリエンテーション：1回開催 7団体11人参加

[定例の委員会内での取り組み]

2019年度テーマ「世代間交流」を進めるために5グループに分かれて、討議・活動（イベント企画、学校連携、子育て支援、高齢者支援、自治会）

<イベント企画グループ>

・お花見 [4月] 30人参加

・みんなで一緒にバーベキュー [11月] 59人参加。

<学校連携グループ>

・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～
総件数136件

・多摩大生によるスマホ相談会 [9月] 相談者19人。

<子育て支援グループ>

・多摩桜の丘学園夏祭り～昔遊びコーナー～ [7月] 約280人参加。

<高齢者支援グループ>

・委員会内での情報交換

<自治会グループ>

・委員会内での情報交換

<その他の活動>

・困りごとふくしポスト 10月からひじり館に設置開始（困りごと4件）

・ミセスベリーのマーマレード教室 [小学生11人 保護者4人]

*各部会の活動

○広報部会

・広報紙「ふくしポスト」

第22号 [5月] 3,500部発行

第23号 [9月] 3,500部発行

第24号 [1月] 3,500部発行

○事業部会

・テーマ「認知症は他人ごと？自分ごと？」の講座
～心にやさしい認知症講座～ [11月]

講師：認知症ケア町田ネット(家族会)世話人 小林孝彰氏

参加者 42人

*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携

・福祉なんでも相談の実施（ひじり館） 10回実施。

※3月はコロナウイルスの影響で中止。

・福祉なんでも相談の実施（連光寺福祉館） 5回実施。

*新規サロン登録：「聖ヶ丘2丁目-西ニコニコ・サロン」

<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<p>■桜ヶ丘まちネット *委員会：2回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 ：延べ31団体41人参加 *世話人会：11回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 〔定例の委員会内での取り組み〕 ※定例の委員会では情報交換・地域課題討議等を実施 〔委員会企画事業〕 *普及啓発講座： 「元気なうちに知っておこう！分かりやすい相続講座」 [11月] 講師：司法書士 相田浩和氏 共催：ゆう桜ヶ丘・桜ゆうゆう会 参加者：50人 *広報紙：「さくらの丘だより」 第17号 [5月] 2,900部発行 第18号 [7月] 2,900部発行 第19号 [12月] 2,900部発行 *サロン活動にこにこサロン (毎週木曜) 43回開催 延べ約1,015人参加。 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 ・福祉なんでも相談の実施 (にこにこサロン内)：10回実施。 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 (連携：西部地域包括支援センター) *桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・「ゆう桜ヶ丘夏祭り」への運営の協力</p>
<p>だい4えりあ (東寺方、和田、百草、落川)</p>	<p><百草団地周辺エリア> ■三方の森ふれんど *委員会：5回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 ：延べ68団体134人参加 *世話人会：11回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 〔委員会企画事業〕 *第2回三方の森ふれんどまつり：延べ200人参加 共催：東寺方児童館、特別養護老人ホーム愛生苑 協賛：おふろの王様 百草店 *定例食事会：40人定員 *広報紙：「三方の森ふれんどだより」 第6号 [11月] 1,300部発行 第7号 [3月] 1,300部発行 *サロン活動 三方の森ふれんど広場 (第2土曜日) 8回実施 *特別養護老人ホーム 「愛生苑」「和光園」見学 7月 *新たなつながりづくり：世代間交流 ・三方の森ふれんどランチ実施 (愛生苑・東寺方児童館共催) *その他 ・福祉なんでも相談の実施 (三方の森コミュニティ会館)：9回実施。 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 (連携：西部地域包括支援センター) ※高齢者を対象の脳トレ、「認知症について」ミニ講座実施。</p>

	<p><東寺方エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会夏祭り参加。 ・ざっくばらん座談会3回実施。 ・出前サロン実施 2回（登録サロン「東寺方健やかサロン」としてスタート。 <p><和田エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談（運協共催・連携：西部包括支援センター）9回実施。 脳トレ・体操実施 ・近トレ「かるがも近トレ」開始
<p>第5エリア (愛宕・乞田)</p>	<p><愛宕エリア></p> <p>■ほほえみネットワーク・愛宕</p> <p>*委員会：2回開催 ：延べ 89人参加 ※コロナウイルスの影響で1回中止</p> <p>*世話人会：11回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座「認知症は他人ごと？自分ごと？～心にやさしい認知症講座」[9月] 57人参加。 講師：認知症ケア町田ネット(家族会)世話人 小林孝彰氏 ・まち歩き「まち歩き&りんご狩り」（日向園）[11月] 32人参加。 <p>※グループワーク（住民懇談会）&食事会 [3月]はコロナウイルスのため中止</p> <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむすびプロジェクト 実施 あたご第5ブロック集会所 [6月] 41人 あたご第4ブロック集会所 [11月] 31人 ・アーケードカフェ 実施（会場：愛宕第一住宅商店街） 第1回 5月19日 雨天中止 第2回 6月18日 40人 第3回 7月16日 26人 第4回 8月20日 27人 第5回 9月17日 30人 第6回 10月15日 31人 ※全て第3火曜日 <p>*広報紙：「ほほえみ通信」 第6号 [8月] 3,500部発行 ※第7号 [3月] は発行延期</p> <p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：9回実施 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 ・かえで館まつりへの参加[10月] ※たまゆら針灸整骨院の協力により、健康セミナーを実施 <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたご連協夏祭り参加[7月] ・あたご連協運営委員総会 出席[5月] ※地域での取り組みについて事業報告 ・あたご地区自治連合協議会「新年情報交換会」出席[1月] ※地域での取り組みについて事業報告 ・愛宕児童館「みんなdeランチ」への協力【7月・8月、12月】 ※コロナウイルスの影響で3月は中止

<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会 *委員会：5回開催 ：延べ78団体121人参加 ※コロナウイルスの影響で1回中止 *世話人会：10回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 [定例の委員会内での取り組み] *本年度のテーマ 「馬引沢・諏訪地域の連携強化 ～共有から協働へ～」 ・「認知症であってもなくても、地域で暮らす」 多摩市認知症当事者の会 미래の会の皆さんとの情報交換 [4月] ・各地域の現状と課題 [6月] ・テーマ別グループワーク [8月] 見守り・ゴミ出し(生活支援)・世代間交流・学校との連携 ・テーマ別グループワーク [12月] ゴミ出し(生活支援)・世代間交流・学校との連携 ・テーマ別グループワーク (ゴミ出し(生活支援)・学校との連携) (東落合小学校教育連携コーディネーターからの事例紹介と情報交換) [2月] [委員会企画事業] ・馬引沢通りウォークラリー [12月] 30人参加(地域住民20人、自立ステーションつばさ7人、諏訪中学生3人) 協力店舗 17店舗 企画委員会 3回(諏訪中学校生徒2人 府中西高校生徒1名参加) ・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 8回実施 *広報紙：「ささえ愛」 第11号 [8月] 3,500部発行 第12号 [2月] 3,500部発行 *諏訪福祉館との連携： 福祉なんでも相談の実施 5回 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 *新規サロン登録：「のんびり馬引沢」</p>
<p>第7エリア (永山)</p>	<p>■福祉のネットワーク永山 *委員会：5回開催 ：延べ70団体118人参加 ※コロナウイルスの影響で1回中止 *世話人会：12回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・社会資源マップづくり [5月] ・地域でのたすけあいの仕組みづくり [7月] ・災害時のサポートと合理的配慮 [9月] ・安否確認の現状と課題 [11月] ・商店街の集いの場と企業の地域貢献活動 [1月] ・今年度の振り返りと次年度に向けて [3月] ※中止 [委員会企画事業] ・「永山地区サロン交流会」開催 [6月] 9団体23人参加。 *交流 ・「まち歩き」開催 (毎月第2火曜日) ・「さんぽ会」 (毎月第1・3水曜日) *見守り ・見守りウォーキング (毎月第2・4月曜日)</p>

	<p>*健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク永山「体操サロン」（毎月第2水曜日） <p>*広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行）</p> <ul style="list-style-type: none"> 32号 [4月] 1,000部発行 33号 [8月] 1,000部発行 34号 [10月] 1,200部発行 35号 [1月] 1,300部発行 <p>*ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」6回開催。 ・避難所運営訓練実施[11月]：196人参加。 ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」7回開催。 ・永山地区合同防災訓練実施[10月]：260人参加。 <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス旅懇親会[10月] ・講座「在宅医療と人生会議」[12月] <p>*新規サロン登録：「エステート永山近トレ教室」「3の2近トレサロン」「アイ♪ビ」</p>
<p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p>	<p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</p> <p>*委員会：5回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ※コロナウイルスの影響で1回中止 ：延べ90団体150人参加 <p>*世話人会：9回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ※コロナウイルスの影響で1回中止 <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組み予定と情報交換[5月] ・自治会・住宅管理組合連絡会[7月] ・防災と見守り①（高齢者編）[9月] ・防災と見守り②（要配慮者の理解）[11月] ・きずな版災害図上演習「72時間ゲーム」[1月] ※青陵中学校にて実施 ・今年度の総括と次年度に向けて[3月] ※中止 <p>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：11回実施。 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 ※冒頭30分で「ちょこっと講座」を実施：延べ57人参加。 ・元気チェックへ協力：10回実施 <p>*豊ヶ丘健幸つながるひろばの運営検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人楽友会と連携。 ・説明会[11月]2回実施 ・検討会[2月]1回実施 <p>*新規サロン登録：「コーヒータイム」「元気アップサロン」「GM2シニア会」</p>

<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p>■ふれあいトムとも *委員会：5回開催 ：延べ89団体 145人参加。 ※コロナウイルスの影響で1回中止 *世話人会：9回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・鶴牧・落合・南野地区の地域情報&ふれあいトムともの活動、多摩センター地域包括支援センターの役割、民生委員の役割、鶴牧・落合・南野地域の福祉団体紹介[6月] ・「地域を知ろう!～多摩ニュータウンの成り立ち～」[7月] ・「地域を知ろう!～防災まち歩きのルートを考えよう～」[9月] ・「地域を知ろう!～防災まち歩き～」[11月] ・「地域の見守りを考える～地域で作る顔見知りの関係づくり～」[1月] *毎回前半に上記の話聞き、後半グループ別意見交換 *広報紙：「トムともだより」 第11号 [9月] 4,900部発行 第12号【2月】3,000部発行 *鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施(トムハウス)：8回実施。 ※3月はコロナウイルスの影響で中止。 (連携：多摩センター地域包括支援センター) ※脳トレ等の実施 ・トムハウス主催の食事懇談会で福祉なんでも相談&脳トレ用紙配布をPR ・トムハウスまつりへの参加[10月] ※多摩センター地域包括支援センターと連携して、脳トレを実施 *新規サロン登録：「みんなで元気はつらつ会」「オーベル近トレクラブ」「鶴5ふれあいサロン」「OGB会(落合活き生きさろん)」</p>
<p>第10エリア (唐木田・中沢・山王下)</p>	<p>■ほっとネットしょうぶ *委員会：6回開催 ：延べ74団体206人参加 *世話人会：11回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・今年度の取り組みについてグループ検討[4月] ・包括支援センターとは～4つの機能と相談事例紹介[6月] ・介護予防の居場所作り～近トレ実施団体のお話と実演[8月] ・地域防災講座～講演会&STEP(避難所運営シミュレーション)大妻女子大学共生社会文化研究所協力[10月] ・みんなでおむすびパーティ&手作り防災[12月] ・今年度の活動の振り返りと次年度の取り組みについてグループ討議[2月] 【全体】 ・大妻女子大学文化祭での防災ブースの協力[10月] ・大妻女子大連携企画「多摩さくら坂」(大妻女子大学内の桜並木観賞イベント)[3月]*コロナウイルスの関係で事業中止 *広報紙：ほっとネットしょうぶ通信 第3号1,500部[9月]発行 第4号1,000部[2月]発行 *唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施(からきだ菖蒲館)：9回実施。</p>

	<p>※3月はコロナウイルスの影響で中止。 (連携：多摩センター地域包括支援センター) ※脳トレ等の実施</p> <p>*青木葉地域連絡会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会、マンション管理組合、青少年問題協議会、小学校からなる青木葉地域連絡会（3回参加）に出席し、管理組合が抱える課題を情報共有 <p>*新規サロン登録：「中沢近トレの会」</p>	
<p>※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学（企業）、事業所など）</p>		
地域福祉推進委員会情報交換会 (地域福祉推進委員会連絡会)	開催日時	令和元年10月31日(火)午後2時～4時30分
	会場	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7階研修室
	内容	「気になること」を委員会の活動につなげるには…
	対象者	各地域福祉推進委員会世話人
	参加者	スーパーバイザー：小林良二氏 世話人24人 その他 2人（多摩市市役所 1人、東社協 1人）
地域福祉普及啓発講座 (関戸公民館・多摩市社会福祉協議会共催市民講座)	開催日時	令和元年11月20日(水)午前10時～午後3時30分
	会場	関戸公民館 ホール
	内容	わくわく“場づくり”入門講座
	対象者	多摩市民、地域福祉推進委員会世話人
	参加者	29人

7 生活支援体制整備事業

(1) 契約状況等

	R1 年度	30 年度
契約年月日	平成 31 年 4 月 1 日	平成 30 年 4 月 1 日
契約金額	10,854,000 円	10,472,000 円

(2) 収支の状況

① 収入の状況 単位：円

区 分	R1年度			30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	10,854,000	10,854,000	100	10,472,000	10,472,000	100

② 支出の状況 単位：円

区 分	R1年度			30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	10,854,000	10,655,040	98.2	10,472,000	9,058,399	86.5

(3) 生活支援コーディネーターの活動状況(H31.4～R2.3)

① 活動件数

	29年度	30年度	R1年度
個別支援	157	129	175
地域支援	1,656	2,449	2,026

② 相談・対応・事業内容

		居場所	見守り	防災・防犯	介護予防	生活支援	認知症	地域行事	制度	その他
個別支援	29年度	22	19	4	23	83	15	4	27	10
	30年度	19	12	2	24	64	25	1	18	10
	元年度	18	28	5	41	71	26	3	36	26
地域支援	29年度	771	674	381	529	312	291	191	43	63
	30年度	1,200	1,055	462	817	364	341	415	63	147
	元年度	926	842	359	610	451	285	257	90	164

③ 連携先・繋ぎ先

		多摩市	警察 消防	専門 機関	包括	協議 体	企業 社福	学校 関係	地域 団体	コミ セン	民生 委員	NPO・ ボラ	社協 内	その 他
個別支援	29年度	19	0	11	57	1	6	0	13	5	11	3	30	3
	30年度	14	1	13	47	7	2	1	7	4	3	5	12	2
地域支援	29年度	267	24	209	333	55	201	190	486	242	388	326	77	44
	30年度	476	35	247	486	120	302	258	821	295	526	403	150	53

		多摩市	専門 機関	医療 機関	包括	協議 体	企業・ 社福・ その他	学校 関係	サロ ン	老人 クラブ	自治会・ 管理組合	自主 防	コミ セン・ 福祉館	民生 委員	ボラ ンティア	社協 内	その 他
個別支援	R1年度	22	17	1	64	0	20	3	5	2	5	0	4	9	5	10	4
地域支援	R1年度	347	177	22	394	90	268	189	415	226	320	132	283	349	195	110	52

*R1年度より集計項目の変更を行った

④ 具体的な取り組み内容

※地域福祉コーディネーターと兼務のため、地域福祉推進委員会での活動は上記参照

ア) 介護予防

○近所de元気アップトレーニング(近トレ) 令和元年度 活動状況一覧 (令和2年3月31日現在)

NO	エリア	団体名	場 所	日 時	近トレ 登録年 度	助成金交 付
1	①	一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所 (一ノ宮1丁目)	毎週水曜日 13:30~15:00	H30	有
2		サロンまちな縁側	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎週木曜日 14:00~15:30	H30	有
3		桜ヶ丘近トレ	あいフィットネスさくら (関戸1丁目)	毎週火曜日 14:00~15:00	H30	無
4		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所 (一ノ宮4丁目)	毎週木曜日 10:00~12:00	R1	有
5	②	連光寺東部健幸サロン わわわ (我和輪)	連光寺東部集会所 (連光寺6丁目)	毎週木曜日 13:00~15:00	H30	有
6		連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	毎週木曜日 13:30~15:00	H30	有
7		ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	毎週水曜日 10:30~11:30	H30	有
8		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	毎週月曜日 8:45~9:15	H30	有
9		金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日 10:00~11:30	H30	有
10		京王一の宮サロン	京王一の宮集会所 (連光寺4丁目)	毎週木曜日 14:00~15:00	R1	有
11	③	コスモスの会	あいクリニック (貝取)	毎週金曜日 14:00~16:00	H30	有

12	④	ふらっと東寺方	東寺方地区市民ホール	毎週水曜日 14:00~16:00	H30	有
13		かるがも近トレ	大栗川かるがも館	毎週水曜日 10:00~	R1	無
14	⑤	いきいき元気アップ教室 (いきいきサロン和田)	和田集会所 (和田3丁目)	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	無
15		サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40団地集会所	第1・3・4水曜日 9:30~11:30 第2土曜日 14:00~16:00	H30	無
16	⑥	はなみずき近トレクラブ	タウンハウス諏訪集会所 (諏訪3丁目)	毎週月曜日 10:30~12:00	H30	有
17		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所 (諏訪3丁目)	毎週火・木曜日 10:00~12:00	H30	有
18		ブリリア月曜会	ブリリア多摩ニュータウンC棟マルチルーム	毎週月曜日 10:00~12:00	R1	無
19	⑦	ラウンジ永山	永山西集会所Eラウンジ (永山4丁目)	毎週火曜日 14:00~16:00	H30	有
20		すいすいサロン	永山東集会所 (永山4丁目)	毎週水曜日 10:30~11:30	H30	有
21		瓜生元気アップトレーニング	瓜生集会所 (永山6丁目)	毎週月曜日 10:30~12:00	H30	有
22		永山ハイツ体操サロン	永山ハイツ集会所 (永山2丁目)	毎週月曜日 13:30~15:00	H30	無
23		いきいきサロン夢の会	東永山複合施設A棟304	毎週火曜日 14:00~16:00	H30	有
24		サロン5-21	タウンハウス永山5集会所	毎週月曜日 10:00~11:30	R1	有
25		エステート永山近トレ教室	エステート永山3団地集会所	毎週月曜日 14:00~15:30	R1	有
26		3の2近トレサロン	永山3-2集会所	毎週水曜日 10:00~12:00	R1	有
27	⑧	南野カフェ	パルシステム東京多摩センター交流ルーム (南野1丁目)	毎週月曜日 13:30~14:30	H30	有
28		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目)	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	有
29		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2集会所	13:30~15:30	R1	有
30		GM2シニア会	グリーンメゾン貝取2集会所	毎週水曜日 11:00~12:00	R1	有
31	⑨	落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい	落合3-5集会所	毎週木曜日 10:00~12:00	H30	有
32		ツル4近トレ	タウンハウス鶴牧4集会所	毎週水曜日 10:30~12:00	H30	有
33		Dグラフィート煉瓦坂サロン	落合2-38マンション内	毎週月曜日 11:00~12:00	H30	無

34		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合5集会所	毎週金曜日 10:30~11:30	H30	有
35		鶴5東町親睦会	鶴牧5丁目集会所	毎週月曜日 14:00~16:00	R1	有
36		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア	毎週火曜日 10:00~12:00	R1	有
37		OGB会(落合活き生きサロン)	落合ブロック集会所	毎週月曜日 13:30~16:00	R1	有
38	⑩	アルテ体操	鶴牧1-17マンション内コミュニティリビング	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	有
39		中沢近トレの会	エステート中沢集会所	毎週水曜日 10:30~11:30	R1	有

②活動・助成の状況

	30年度	R1年度
活動団体数	27	39
助成団体数	20	32
助成総額 (単位:円)	300,000	480,000

イ) 生活支援

エリア	事業名	対象	担い手	連携先	内容
②	さくら運送	地域住民 ※店舗から 20分圏域	多摩桜の丘学園高等部	多摩桜の丘学園 ビッグ・エー 連光寺・聖ヶ丘地域 福祉推進委員会	「買い物支援(主に高齢者)」 年間:136件活動 ビッグ・エーで買い物したものを、利用者と一緒に多摩桜の丘学園の生徒が自宅まで運ぶ。
④	定例食事会	百草団地 周辺住民	地域住民 愛生苑	愛生苑 三方の森コミュニティ会館 三方の森ふれんど (百草団地地域地域福祉推進委員会)	「食を通したつながりづくり」 「交流のきっかけづくり」 三方の森コミュニティ会館を会場に愛生苑で調理した食事を、住民がスタッフとなり、提供。
	多摩市百草団地自治会 みまもりの会	百草団地	自治会役員及びボランティアスタッフ	多摩市百草団地自治会	「見守り・支え合い活動」 話し相手や見守り、家事手伝い、外出支援、簡単な修理などを受け、活動を行う。
⑦	カレーの日	地域住民	地域住民	永山団地自治会 民生児童委員 中部地域包括支援センター 見守り協力員	「高齢者の孤食への対応」 「地域での居場所づくり」 永山地域連絡会の課題から「食を通した居場所づくり」として「カレーの日」を住民有志で企画、実施。約100人参加。
	永山団地サポーター	永山団地自治会 会員	永山団地自治会 会員	中部地域包括支援センター	「地域での支え合いの仕組み」 年間:27件活動 自治会内での助け合いの仕組みとして、サポーターを自治会だよりで募集、希望者を募り、マッチングを行う。

ウ) ネットワーク構築・ニーズ把握

事業	回数
地域ケア会議	2
ぐっとらいふミーティング	8
地域包括支援センター代表者会議	10
地域包括支援センター地区連絡会	7
グッピープロジェクト関係	11
地域活動・支えあいリストの更新	1 計10,000部
通いの場マップ作成	1 5,000部
第1層協議体との連携	
まるっと協議体	3
居場所分科会	1
生活支援分科会	5
移動分科会	7

8 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円) 介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円) 時間外・・・早朝(7時～8時) 夜間(17時～20時) 及び日曜・祝日は割増料金
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	R1年度			30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,579,000	3,107,272	67.9	4,641,000	3,432,339	74.0

② 支出の状況

単位：円

区分	R1年度			30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,579,000	3,051,274	66.6	4,641,000	3,432,339	74.0

(3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

	利用者	協力員			利用状況			
	人数	月末登録者数	新規登録者	活動者数	援助		介助	
					日中	時間外	日中	時間外
4月	87	149	2	56	78	1	8	0
5月	82	164	15	55	79	1	2	0
6月	84	166	2	60	78	2	4	0
7月	75	167	2	54	72	1	2	0
8月	74	167	1	49	70	1	3	0
9月	76	169	2	53	72	1	3	0
10月	81	170	1	56	79	0	2	0
11月	87	170	1	58	85	0	2	0

12月	84	171	1	53	83	0	1	0
1月	76	171	0	50	72	0	4	0
2月	73	174	3	47	70	2	1	0
3月	62	149	0	43	60	2	0	0
月平均	78.4	165.6		52.8	74.8	0.9	2.7	0
昨年度 月平均	83.5	153.1		54.8	76.4	2.2	4.8	0.1

(新規利用者：37人 新規登録協力員：30人)

(4) 過去5年間の状況

単位：人

		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
利用者数(月平均数)		71.2	84.8	77.9	83.5	78.3
協力員	登録者数	215	212	153	166	149
	うち新規登録者数	54	42	32	28	30
	活動者数(月平均)	47.5	56	55.9	54.8	52.8

(5) たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	第1回 令和元年 7月 9日(火) 午前10時～11時30分 第2回 令和元年11月29日(金) 午前10時～11時30分
会場	第1回 関戸公民館 第2学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	第1回 「こんな時どうしたら良い?活動に役立つ訪問マナー」(初任者研修) 第2回 「利用者の気持ちを考えよう!高齢者の気持ちとサポートするポイントを学ぶ」(ステップアップ研修)
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 11人 第2回 10人
連携者(団体)	第1回 みずたま介護ステーション永山 第2回 特別養護老人ホーム 愛生苑

(6) たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	第1回 令和元年7月26日(金) 午前10時～11時30分 第2回 令和2年2月25日(火) 午前10時～11時30分
会場	第1回 関戸公民館 第2学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	懇談することにより、協力員がお互いに情報を共有し、日頃の活動における疑問や課題を解決する機会とする。
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 8人 第2回 11人

(7) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 令和元年5月18日(水) 午後2時15分～3時 第2回 令和元年5月28日(火) 午前10時～11時30分 第3回 令和元年9月4日(水) 午前10時～11時30分 第4回 令和2年2月1日(土) 午後1時30分～2時30分
------	---

会 場	第1回 三方の森コミュニティ会館 会議室1 第2回 永山公民館 視聴覚室 第3回 ブリリア多摩ニュータウン マルチルーム・パーティールーム 第4回 大栗川・かるがも館 第1・2会議室
内 容	たすけあい有償活動事業説明 実際の活動内容を協力員と職員による対談形式で発表 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 15人 第2回 10人 第3回 4人 第4回 4人

9 住民主体による訪問型サービス

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内容 利用料金	<p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定) たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内 容・・・家事支援(掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻 度・・・1週間に1回まで</p> <p>家事支援 1回60分以内 買物同行支援 1回90分以内</p> <p>利用料・・・家事支援 60分以内 1, 510円/回(利用者負担302円) 買物同行支援 90分以内 2, 260円/回(利用者負担452円)</p> <p>活動費・・・家事支援1, 100円/回 買物同行支援1, 650円/回 ※交通費相当含む</p> <p>キャンセル料・・・当日キャンセルの場合 家事支援1, 100円 買物同行支援1, 650円</p>
対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,831,000	1,335,614	73.0	1,851,000	1,359,301	73.4

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,831,000	1,147,720	62.7	1,851,000	1,092,800	59.0

(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況

単位：人

	協力員			利用状況		
	月末 登録者数	新規 登録人数	活動者数	相談数	新規 利用者数	利用者数
4月	55	0	13	2	1	16
5月	55	0	13	4	4	19
6月	55	0	15	0	1	20
7月	55	0	15	3	1	19
8月	68	14	15	4	1	20
9月	68	0	17	3	3	24
10月	68	0	17	2	1	24
11月	68	0	19	4	4	24
12月	68	0	18	0	0	23
1月	67	0	17	3	2	21

2月	67	0	18	2	0	21
3月	57	0	18	1	1	21
月平均	62.6	1.2	16.3	2.3	1.6	21
昨年度 月平均	49.8	1.6	14.8	2.2	1.3	21.6

(昨年度：新規利用者 14人 新規登録協力員 19人)

(今年度：新規利用者 19人 新規登録協力員 14人)

10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	9,946,000	7,609,754	76.5	10,580,000	10,493,744	99.2

③ 支出の状況

単位：円

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	9,946,000	7,147,148	71.9	10,580,000	7,617,142	72.0

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	13名	R1.5.20	10名
		R1.8.5	8名
		R1.10.21	10名
		R1.12.19	11名
企業等連携強化専門委員会	6名	H31.4.8	4名
		R1.6.10	6名
		R1.10.25	4名
		R1.12.18	4名
災害ボランティアセンター運営ボランティア育成専門委員会	9名	R1.7.8	6名

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動入門講座

車イス操作指導法講座(全2回)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
① R2.1.24	① 29人	二幸産業・N SP健幸福社 プラザ7階研 修室	① 車イスの操作法、指 導法解説	特別養護老人ホーム 白楽荘
② R2.1.31	② 22人		② 車イス操作・指導の 演習	

昔あそびボランティア養成講座「昔あそびの世界へようこそ」(全3回)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
① R2.1.25	① 7人	関戸公民館 ギャラリー	<全回共通内容> 1. 昔あそびを伝承する 意義やこどもにかかわる 活動の楽しさ、喜び、注 意していること等 2. その指導方法 3. 体験 4. 質疑応答	①ひのベーゴマクラ ブ(日野市ボランテ ィア団体) ③ Touch(プロ) ③こままわし こま のたけちゃん 協力：松村美花氏、 瀬野克義氏(男性ボ ランティア会議)
② R2.2.29	② 14人			
③ R2.3.15	③ 11人			
※③は中止	※③は申込 人数			

②市民活動入門講座（フォローアップ講座）

傾聴ボランティアフォローアップ講座

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R1. 6. 12	20 人	関戸公民館 大会議室	①平成 30 年度傾聴ボランティア養成講座受講生の活動状況などについて情報共有及び課題解決 ②平成 30 年度傾聴ボランティア養成講座受講生の活動先拡充および地域ニーズを確認する	アクティヴリッスン代表、NHK 学園「傾聴講座」監修者澤村直樹氏

③ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R1. 5. 3、4、5、11、25、6. 2、22、7. 6、20、27、8. 10	延べ 70 人	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2019 及び東京ヴェルディホームゲーム会場等 全 3 箇所	東京医療学院大学学生 ボランティア体験	東京ヴェルディ 男性ボランティア会議
R1. 7. 21～ 8. 31	446 人	市内・近隣の 福祉施設等 全 97 箇所	夏のボランティア体験 2019	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体、保育園、児童館、学童クラブ、NPO・ボランティア団体、コミュニティセンター

④災害ボランティア育成

ア) 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成講座

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R1. 8. 10	17 人	関戸公民館 大会議室	① 講座「災害ボラセンの役割について」 ② 災害ボラセンロールプレイ体験。	

イ) 多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
※ R1.9.1	118人	二幸産業・N SP健幸福 社プラザ他	①災害ボラセン設置・運営訓練 ②障がい者と歩く防災まちあるき	<ul style="list-style-type: none"> ・南多摩ブロック 4社協(八王子、日野、町田、稲城) ・東京ボランティア・市民活動センター ・多摩青年会議所

上記参加者には社協職員を含む(職員研修を兼ねているため)

※運営ボランティアとして50人が登録

⑤ ボランティアまつり(平成30年度よりボランティア・地域活動見本市)

回	実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
第7回	H28.1.23	4,000人	関戸公民館各フロア、さくら広場、多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画:「私のボランティア体験～東日本大震災を通して～」 パネルディスカッション「未来へつなぐ はじめの一步」(パネリスト:多摩中・東愛宕中・和田中の生徒) ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額80,900円 ・協賛金額 225,000円 	協賛企業等 42 団体、ボランティア 63 人(実行委員 11 人、財源確専門委員会委員 3 人含む) ※企画運営: 第 7 回ボランティアまつり実行委員会
第8回	H29.1.29	3,500人		<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画:映画「みんなの学校」の上映、市内4中学校の生徒(多摩中学校・東愛宕中学校・和田中学校・鶴牧中学校)によるトークセッション「私のボランティア体験」 ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 127,500 円 ・協賛金額 308,000円 	協賛企業等 39 団体、ボランティア 35 人(実行委員 10 人、財源確専門委員会委員 4 人含む) ※企画運営: 第 8 回ボランティアまつり実行委員会
第9回	H30.1.27	3,000人		<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発体験企画「自分にもできる防災」(VC運営委員会・NPO法人シーズネットワーク共催企画) ・「たまたま多摩にいる人 	協賛企業等 34 団体、ボランティア 23 人(運営委員・財源確専門委員会委員 9 人含む)

				交流おそうじ」(NPO法人グリーンバード中央大学チーム共催企画) ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 20,500 円 ・協賛金額 278,000 円	
第10回	H31. 1. 26	100 人		・ボランティア・市民活動の活動紹介、体験、相談コーナー ・多摩フレイル予防プロジェクト (TFPP) の実施 ・協賛金額 175,000 円	参加協力団体・機関：28、協賛企業等 16
第11回	R1. 10. 20	400 人	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ	・参加団体による活動紹介、相談、マッチングほか ・参加者・団体同士の交流の機会	参加協力団体・機関：13

⑥ たまボランティアギフト マatchingギフト合計金額 49,500 円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R1. 5. 3・5. 5	2 人	多摩センター駅	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2019	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会職員共済会
R1. 10. 26～27	2 人	多摩市内各駅	令和元年 台風第 19 号 災害支援金街頭募金活動	
R1. 7. 26～8. 29	8 人	市内の福祉施設やボランティア団体など	夏のボランティア体験 2019	東京海上日動システムズ(株)

(4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進(多摩地域企業等情報交換の集い)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R1. 11. 13	27 人 (20 団体)	関戸公民館 大会議室	「食」で地域・社会貢献活動をしている企業からの発表と、ネットワーク連絡会の発足承認	20 団体 一般企業：13 団体 非営利法人：4 団体 大学：3 団体
R2. 2. 5	25 人 (23 団体)	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7 階研修室	ネットワーク連絡会の正式名称と愛称の決定	23 団体 一般企業：14 団体 非営利法人：5 団体 大学：4 団体

(5) 相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
H31. 4. 8～ R1. 7. 2 全 12 日	延べ 84 人	市内コミュニ ティセン ター 6 箇 所、永山公 民館	平成 31 年度ボラン ティア保険加入受付、 夏のボランティア体 験申込受付、ボラン ティア・市民活動の 情報提供、相談等	市内コミュニ ティセンター運営 協議会、ボラン ティア相談員延べ 11 人
毎月 第 4 木曜日 全 11 日	延べ 28 人	老人福祉セ ンター	ボランティア・市民 活動の情報提供、相 談対応、ボラン ティア保険受付、夏のボ ランティア体験申込 受付等	3 月は中止
① R1. 12. 11 ② R2. 1. 8 ③ R2. 2. 12 ④ R2. 2. 12 ⑤ R2. 3. 18 全 5 回	① 1 人 ② 1 人 ③ 1 人 ④ 1 人 ⑤ 3 人	多摩ボラン ティア・市 民活動支援 センター打 ち合わせコ ーナー	・NPO 設立・運営に関 する相談 (NPO 法人の 設立を考えている方 向け) ・会計・税務に関す る相談 (ボラン ティア団体や特定非営利 活動法人向け)	内藤 純 氏 (公認 会計士・税理士)

(6) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩ボラン ティア・市民活動支援セ ンターパソコン研 修室利用登録団体 (4 団体)	H31. 4. 1～ R2. 3. 31	・パソコン教室の開催 (全 421 回) ・パソコン研修室の貸 出、広報	
2	東京ヴェルディ 1969 フットボール クラブ(株)	H31. 4. 3～R1. 10. 19	・東京ヴェルディホー ムゲームでの車イス 来場者の付添、会場 案内等 (参加者申込受付、広 報)	
3	第 38 回せいせき桜 まつり実行委員会	H31. 4. 7	・東日本大震災復興支 援フェア出店	元気いしのまき、 多摩市災害復興支 援ボランティアの 会
4	南多摩日本語の会	H31. 4. 7 ～R1. 5. 26(全 7 回・ 初級)、R1. 6. 2～7. 21 (全 8 回・中級)	・ボランティア日本語 講師養成講座 (広報、参加者申込受 付)	
5	多摩市手話サーク ル「クローバー」	R1. 8. 6～8. 8 (全 3 回)	・夏休み手話教室 (参 加者申込受付、永山 分室会議室の貸出、 広報)	

6	多摩市要約筆記 サークル	R1. 10. 5	・「聞こえにくさへの理解とコミュニケーションのコツ」講座 (広報、参加者申込受付)	
7	NPO法人シニア サポート多摩	R1. 11. 11～ R2. 3. 31 (月1回 合計4回開催)	・おひとり様・おふたり様の安心終活講座 (広報、参加申込受付)	
8	映画フォーラム実行委員会	R1. 5. 14、6. 11、7. 29、 9. 1、R2. 2. 27	チケット代行販売 (販売手数料収入 4,450円)	※ボランティア登録団体
9	What's jazz 実行委員会	R1. 6. 7、11. 8、 R2. 2. 28	チケット代行販売 (販売手数料収入 88,500円)	※ボランティア登録団体

(7) 地域出前事業

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	東京医療学院大学	H31. 4. 8	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②多摩ボランティア・市民活動支援センターの取り組みについて	
2	永山高校	R1. 6. 19	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験2019の説明	
3	恵泉女学園大学	①H31. 4. 19 ②R1. 9. 27	講師派遣 ボランティア入門講座	
4	大妻多摩中学校	R1. 6. 26	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験2019の説明	
5	多摩市手話サークル 「クローバー」	R1. 7. 18	講師派遣 ①災害発生直後からの社協の動きについて ②自助互助について	
6	北諏訪小学校	① R1. 8. 28 ② R1. 12. 18	講師派遣 ①ボランティアについての話 ②障がい者理解	① 多摩ボランティア・市民活動支援センター ② 島田療育センター
7	多摩市老人クラブ連 合会	R1. 8. 6	車いす講習会	① 男性ボランティア会議 ② 愛生苑

8	南鶴牧小学校 おやじの会	R1. 9. 28	「エコスポ祭り」内での子ども向け車イス利用体験、高齢者擬似体験	① 多摩ボランティア・市民活動支援センター ② 愛生苑
9	永山小学校	① R1. 10. 31 ② R1. 10. 31 ③ R1. 11. 15	①視覚障がい者の方の話 ②点字体験 ③聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 田口和明 ②パソコン点訳サークルこがめ、多摩市点訳サークル「トータス」 ③多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
		R2. 2. 8	①身体障がい者理解 ②車椅子講習	①平田真利恵氏 ②白楽荘
10	豊ヶ丘小学校	①R1. 11. 1 ②R1. 11. 1	①視覚障がい者の方の話 ②点字体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 瀬尾敏也氏②パソコン点訳サークルこがめ
11	大松台小学校	①R1. 11. 12 ②R1. 11. 15 ③R1. 11. 18 ④R1. 11. 25	①視覚障がい者理解 ②身体障がい者理解 ③点字体験 ④聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 山田正義氏 ②平田真利恵氏 ③パソコン点訳サークルこがめ ④多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
12	南鶴牧小学校	新型コロナウィルスにより中止	視覚障がい者理解	多摩市視覚障害者福祉協会
13	多摩市立子育て総合センター たまっこ	R1. 11. 29	講師派遣 「平成31年度子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	
14	貝取小学校	①R2. 2. 12 ②R2. 2. 12 ③R2. 2. 19	①視覚障がい者理解 ②点字体験 ③高齢者理解、疑似体験	①多摩市視覚障害者福祉協会横山秀子氏 ②多摩市点訳サークル「トータス」

				③愛生苑
15	東京海上日動システムズ(株)	R2. 2. 3	社員向け障がい者理解講座	東京スルーネット ピンポン会長 平 賀邦輝氏、愛澤潤氏

(8) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 令和元年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
うたごえランド	ボランティアの市民による「ときめき★コンサート」の開催	30,000
NPO法人キャットセイビア	団体活動に必要な備品の購入	50,000
多摩市音訳グループ繭	会員のスキルアップのための講座開催	20,000
マジックエコー	担い手発掘のためのマジック講習会開催	30,000
NPO法人 シニアサポート多摩	主に独居・夫婦のみ世帯の高齢者に向けた法務と福祉の相談会	30,000
多摩市手話サークル「クローバー」	ろう者（聴覚障害者）の講師による手話での講演会	30,000
風船隊バルバル	会員のスキルアップと会の活性化のための講習会を開催	20,000
多摩市要約筆記サークル	聞こえに不便を感じている人や、その家族等を対象に、難聴者とのコミュニケーションに役立つ知識についての講座を開催	24,000
たこの木クラブ	知的障がい者への理解と周知のための事業	30,000
特定非営利活動法人 多摩市聴覚障がい者情報活動センター	会員活動等の質向上を図るための事業	20,000
聖ヶ丘子どもおとしより見守り実行委員会	地域での防犯活動の範囲拡大や、地域の様々なボランティア活動の担い手を発掘するための普及啓発事業を行う	30,000
社団法人 充実人生クラブ	団体活動の周知と担い手発掘のための「高齢者と障がい者のためのコンサート」の実施	30,000
自主活動グループ メルティング・ポット	団体活動に必要な備品の購入	50,000
合計 (13 団体)		394,000

※傾聴ボランティアグループ「福寿草」に関しては、コロナウイルス感染拡大に伴い未実施となった。(交付額：20,000円は返還予定。)

② 過去5年間の状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
登録団体数	69	64	58	58	62
助成団体数	17	14	12	12	13
助成総額(円)	651,642	499,600	424,470	344,000	394,000

(9) 子ども食堂等活動支援金交付事業

③ 令和元年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
特定非営利活動法人 アピユイ	みなのは だれでも食堂	20,000
特定非営利活動法人どんぐりパン	きっちん空(子ども・誰でも食堂)	20,000
一般社団法人 祥鶴会	ほくの家(子ども・誰でも食堂)	20,000
ハーモニークラブ	ハーモニーカフェ(子ども・誰でも食堂)	20,000
ピンクララタマ	ピンクララタマ(子ども誰でも食堂)	20,000
自主活動グループ メルティング・ポット	メルティング・ダイニング(誰でも食堂)	20,000
合計(6団体)		120,000

④ 過去5年間の状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
応募団体数	0	0	0	2	6
助成団体数	0	0	0	2	6
支援総額(円)	0	0	0	40,000	120,000

(10) 販売事務業務委託(多摩市受託事業) ※通年

委託件名	事業内容	収入金額 (単位：円)
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務(販売) ※委託料は販売価格の20%	2,126
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5%	134,875
合計		137,001

(11) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月1回	構成：26団体
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年4回	
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年4回	
市区町村社協南多摩ブロック職員 の会ボランティア担当者会議	年7回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、 多摩市の5市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報 交換を行っている。

(12) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（令和2年3月末現在高 11,220,875円）

単位：円

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
寄附金額	61,000	15,285	9,557	31,353	50,000

※平成28年度寄附金のうち、1,111,571円はふるさとTAMA応援寄附金。次年度4月期に基金への積立を行うため平成29年3月末現在高には含まれず

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
寄附金額	595,245	181,347	244,688	231,430	194,600

※ 商品券による寄附 100,000円を含む

※ 平成27年度の寄附金のうち、91,200円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成28年度の寄附金のうち、98,600円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成29年度の寄附金のうち、72,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成30年度の寄附金のうち、98,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 令和元年度の寄附金のうち、49,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(13) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
個人登録者数	475人※1	505人※1	551人※1	651人※1	716人※1
団体加盟者数	3,023人※2	2,296人※2	1,853人※2	2,074人※2	2,155人※2
V保険登録者数	3,002人	3,012人	2,224人	3,032人	2,062人
登録団体数	69団体	64団体	58団体	58団体	60団体

※1 個人登録者数のうち、477人は介護予防ボランティアポイント登録者

また、災害ボランティアやヴェルディボランティアで重複あり

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
個人利用登録者数	890人	955人	1,037人	1,107人	1,126人
来館者数	12,800人	12,704人	12,750人	11,540人	8,917人

(15) ボランティア相談状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
ボランティア希望	159	158	147	125	157
ボランティア要請	96	97	91	77	61
マッチング（紹介）	75	87	86	55	54
情報提供	63	46	34	22	20
協力依頼	34	29	41	55	48
その他	4	11	27	28	11
計	356	341	340	307	297

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない。

※マッチング（紹介）は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず。

(16) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ（本センター） 打ち合わせコーナー 定員 30 人
 総合福祉センター ボランティア活動室 定員 15 人
 永山分室 ボランティア活動室 定員 20 人 会議室 定員 50 人
 （ ）内は前年度

利用月	ヴィータ(本センター)		総合福祉センター分室		永山分室	
	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数
H31. 4	23 (38)	168 (211)	18 (18)	169 (138)	60 (61)	911 (846)
R1. 5	36 (50)	105 (259)	11 (11)	88 (99)	44 (50)	862 (828)
R1. 6	10 (38)	76 (214)	19 (13)	129 (120)	39 (60)	1,093 (1,084)
R1. 7	13 (51)	107 (270)	13 (14)	95 (119)	51 (60)	868 (1,071)
R1. 8	4 (43)	21 (185)	11 (11)	75 (100)	35 (33)	496 (436)
R1. 9	10 (47)	61 (222)	15 (15)	98 (128)	58 (54)	910 (937)
R1.10	17 (42)	69 (214)	20 (16)	148 (127)	54 (57)	900 (879)
R1.11	15 (51)	97 (295)	13 (13)	92 (95)	54 (59)	833 (1,069)
R1.12	14 (37)	72 (171)	14 (13)	110 (113)	53 (52)	816 (872)
R2. 1	14 (33)	62 (201)	13 (8)	106 (56)	44 (39)	767 (612)
R2. 2	20 (32)	89 (157)	18 (14)	164 (114)	51 (50)	815 (810)
R2. 3	0 (25)	0 (150)	0 (12)	0 (133)	5 (63)	17(8107)
合計	176 (487)	927 (2,549)	165 (158)	1,274 (1,342)	548 (638)	9,288 (10,254)

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った(一部有料)。

貸出機材	貸出件数合計 ()内は前年度
ロッカー	31 (30)
メールボックス	15 (15)
多目的ボックス	19 (33)
車いす	22 (22)
高齢者疑似体験セット	15 (20)
視覚障がい体験セット	3 (2)
アイマスク	4 (7)
点字練習器	3 (5)
女性センターライブラリー図書	46 (66)

(17) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況 (月1回発行)

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,500部	30,000部	371箇所	市内公共施設(コミュニティセンター含む)、市内郵便局、市内企業・店舗(福祉協力店含む)、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況
 () 内は前年度の数

ア) 令和元年度実績

月	訪問者数	一日平均アクセス者数
H31. 4	871(1,039)	29(35)
R1. 5	967(1,331)	31(43)
R1. 6	1,837(1,978)	61(66)
R1. 7	1,585(1,637)	51(53)
R1. 8	894(1,118)	29(36)
R1. 9	769(805)	36(27)
R1.10	1,081(786)	35(25)
R1.11	810(1,011)	27(34)
R1.12	636(835)	21(27)
R2. 1	792(787)	26(26)
R2. 2	724(1,009)	25(36)
R2. 3	890(849)	29(28)
合計	11,856(13,185)	29(27)

※訪問者数は、1回以上アクセスしたユーザー数（重複なし）

イ) 過去5年間の状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
訪問者数（ユーザー数）	20,754	18,036	16,263	13,185	10,665
一日平均アクセス者数	56	49	45	27	29

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：598人（令和2年3月末日現在）

ウ 配信回数：17回

エ 過去5年間の状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
登録件数	611	632	625	617	598

1 1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	令和元年度	平成30年度
契約年月日	平成31年4月1日	平成30年4月1日
契約金額	2,230,000円	1,948,000円

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	令和元年度			平成30年度		
区分	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	2,230,000	2,230,000	100.0	1,948,000	1,948,000	100.0

② 支出の状況

単位：円

	令和元年度			平成30年度		
区分	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	2,230,000	2,061,547	92.4	1,948,000	1,688,174	86.7

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
登録者数	187人	255人	343人	404人	477人

② 登録施設数

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
登録施設数	36	39	45	51	52

③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H31.4.11～ R2.2.9（毎月 第一木曜日）	24人	多摩ボランティア・市 民活動支援センター 打合せコーナー	・にゃんともTAMARボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて	3月は中止

④ 研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R1.10.9	43人	関戸公民館大会議室	認知症にならないための手法 と高齢者との会話術を学ぶ	認知症ケア町田 ケアネット（家 族会）世話人 小林 孝彰 氏

⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R2.1.23	2施設 2人	多摩ボランティア・市 民活動支援センター 打合せコーナー	・にゃんともTAMARボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて	参加施設が少な かったため2施 設を訪問し説 明。

⑥ 施設ボランティア受入れ担当者情報交換会と研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R2. 3. 25	施設 人	多摩市役所 西庁舎 会議室	施設担当者とボランティアの リレーションシップを学ぶ。	中止

12 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
相談件数	4,620	3,998	4,009	3,292	3,030
契約件数	24	19	16	28	20
解約件数	18	10	18	23	14
年度末契約件数	77	86	84	89	95

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,821,000	3,789,693	99.2	3,776,000	3,451,115	91.4

支出の状況

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,821,000	3,598,899	94.2	3,776,000	3,353,833	88.8

(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
相談件数	1,088	980	747	715	627
契約件数	4	7	4	7	4
解約件数	7	6	4	8	5
年度末契約件数	21	22	22	21	20

福祉サービス利用援助事業 令和元年度末契約総数 115件 (95件+20件)

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,834,000	1,690,932	92.2	1,894,000	1,791,771	94.6

支出の状況

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,834,000	1,207,305	65.9	1,894,000	1,473,358	77.8

(4) 成年後見制度利用支援業務

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
相談件数	224	134	183	185	163
申立支援件数	5	4	7	9	4

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数は、(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	975,000	770,000	79.0	970,000	850,884	87.7

支出の状況

区分	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	975,000	583,577	59.9	970,000	725,819	74.8

(5)実施事業

<p>広報・説明会</p>	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。 2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。 ① 市民向け事業説明会 令和元年9月21日(土) 21人、令和元年11月5日(火) 4人 令和元年11月11日(月) 24人、令和元年12月13日(金) 7人 ② 事業所向け事業説明会 令和2年2月20日(木) 32人、令和2年2月20日(木) 12人 ③ 生活支援員募集事業説明会 令和元年7月18日(木) 1人、令和元年10月10日(木) 3人、 合計4人</p>
<p>ふくし法律 相談</p>	<p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター内 弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談人数および件数：12人、17件 相続について (4件) 財産管理について (3件) 遺言について (3件) 成年後見制度について (4件) その他 (3件)</p>
<p>講演会</p>	<p>事業名：「専門職による遺言と相続講座」 日 時：①令和元年6月5日(水)、②令和元年6月6日(木) いずれも午後2時～4時 場 所：二幸産業・NSP健幸福祉プラザ7階研修室 講 師：6/5 司法書士 相田浩和氏、6/6 税理士 内藤純氏 目 的：市民を対象に遺言と相続税についての普及啓発を行う。 講演会を通じて司法書士及び税理士との連携を図る。 内 容：1日目に司法書士より遺言や相続について、2日目に税理士より相続税についての講演を行った。 参加者：延べ82人</p> <p>事業名：「市民のための成年後見講座」 日 時：令和元年6月22日(土) 午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：司法書士 北村智史氏 目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容：成年後見制度の活用(基礎編)について講演を行った。 参加者：22人</p> <p>事業名：「親族後見人懇談会」 日 時：令和元年6月22日(土) 午後2時～4時 場 所：消費生活センター 講座室 目 的：親族で後見人等としての活動を考ええている方に対して、後見業務の具体的な内容や活動におけるポイントを伝え、今後の後見活動における心構えに繋げる。 内 容：「親族後見人としての活動における不安を少しでも和らげよう」をテーマに参加者同士で懇談会を行った。 参加者：7人</p> <p>事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時：令和元年7月8日(月) 午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：社会福祉士・ファイナンシャルプランナー 音川敏枝氏</p>

	<p>目的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、家族信託と成年後見制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。</p> <p>内容：成年後見制度と家族信託について講演を行った。</p> <p>参加者：33人</p> <p>事業名：「専門職見人等懇談会」</p> <p>日時：令和元年11月1日（金）午後7時～9時</p> <p>場所：消費生活センター 講座室</p> <p>講師：多摩市役所 福祉総務課</p> <p>目的：多摩市における成年後見性おd利用促進計画及び中核機関について、周知を図るとともに、専門職見人等の交流を促進することで後見人等の支援を行う。</p> <p>内容：「多摩市における成年後見制度利用促進計画及び中核機関について」の講演と情報交換会を行った。</p> <p>参加者：14人</p> <p>事業名：「消費者被害予防講座—消費生活トラブルから身を守る—」</p> <p>日時：令和元年11月16日（土）午前10時～12時</p> <p>場所：消費生活センター 講座室</p> <p>講師：多摩市消費生活センター相談員 鈴木治子氏</p> <p>目的：架空請求詐欺等の傾向や対処方法をグループワークで学ぶことにより、詐欺被害を事前に防ぐことに繋げる。</p> <p>内容：市民を対象に最近の詐欺傾向や参加者同士のロールプレイを交えて、架空請求などのトラブル防止や成年後見制度について講演を行った。</p> <p>参加者：4人</p> <p>事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」</p> <p>日時：令和元年11月16日（土）午後1時30分～4時40分</p> <p>場所：消費生活センター 講座室</p> <p>相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名 北村智史氏、吉村護氏、鶴岡勝美氏</p> <p>目的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。</p> <p>内容：司法書士による成年後見制度や遺言に関する相談会を行った。</p> <p>相談者数：5人</p> <p>事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」</p> <p>日時：令和2年1月22日（水）午前10時～12時</p> <p>場所：消費生活センター 講座室</p> <p>講師：行政書士 渡部伸氏</p> <p>目的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。</p> <p>内容：知的障がい者の成年後見活用について講演を行った。</p> <p>参加者：9人</p> <p>事業名：「市民のための任意後見講座」</p> <p>日時：令和2年2月1日（土）午前10時～12時</p> <p>場所：消費生活センター 講座室</p> <p>講師：弁護士 秋野達彦氏</p> <p>目的：市民を対象に任意後見制度の普及啓発を行う。</p> <p>内容：任意後見制度の活用について講演を行った。</p> <p>参加者：14人</p>
--	---

	<p>事業名：「成年後見人等懇談会」 日 時：令和2年2月1日（土）午後2時～4時 場 所：消費生活センター 講座室 発話者：社会福祉士 大輪典子氏 目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。 内 容：「成年被後見人等の意思を尊重した最期を迎えるために」の講演と情報交換会を行った。 参加者：9人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員研修会 「安全運転講習について」 日 時：令和元年7月29日（月） 午後1時～3時50分 場 所：東急自動車学校 講 師：東急自動車学校 職員 目 的：支援時に安全運転をこころがけるよう啓発し、事故防止に繋げる。 内 容：東急自動車学校の講師から講話やビデオを見ながら、安全運転の意識付けを行った。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員14人、職員7人 計21人</p> <p>事業名：生活支援員研修会 「支援中の困ったこと良かったことについて」 日 時：令和2年1月30日（木）午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター7階 研修室 目 的：支援活動を通じて感じたことや疑問などを生活支援員同士で共有し、話し合うことによって利用者へのより良い支援に繋げていく。 内 容：グループワークを通じて支援中の困ったことや良かったことを共有する。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員16人、職員5人 計21人</p>

1 3 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
相談総件数		1,446件	1,628	2,137件	2,114件	2,148件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	305,480 (4件)	3,300,000 (5件) 辞退 2,023,000	58,000 (1件)	308,000 (2件)	- ※特例貸付 (11件)
	②緊急小口資金	530,000 (7件)	200,000 (2件)	350,000 (4件)	100,000 (1件)	-
	③教育支援資金	26,470,000 (23件) 辞退 5,660,000	67,587,000 (44件) 辞退 3,372,000	79,202,500 (57件) 辞退 9,036,000	27,689,500 (23件) 辞退 10,000	1,370,000 (8件) 辞退 238,000
	④総合支援資金	-	246,000 (1件)	-	420,000 (1件)	※特例貸付 (0件)
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	-	-	-	13,930,000 (1件)
	合計	27,305,480 (34件)	71,363,000 (52件)	79,610,500 (62件)	28,507,500 (27件)	15,300,000 (20件)

※特例貸付：新型コロナウイルスの影響による特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金生活支援費）の申込件数

(2)小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
相談件数		869件	764件	688件	558件	425件
貸付金額		644,000 (36件)	505,000 (26件)	347,000 (23件)	250,000 (13件)	-
償還 状況	当年度貸付分 償還金	399,000 (55件)	372,000 (64件)	201,000 (29件)	164,000 (22件)	-
	過年度貸付分 償還金	506,000 (97件)	315,000 (82件)	276,000 (62件)	158,000 (28件)	117,000 (22件)

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
支給件数	15件	10件	8件	4件	7件
支給金額	1,500	2,000	4,500	1,000	8,000

※ 業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

※ 多摩市健康福祉部生活福祉課で、6件合計4,000円支給。うち2件は返還済。

(4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		28年度	29年度	30年度	R1年度
相談件数		30件	16件	29件	28件
貸付件数	① 入学準備金	1,000,000円 (2件)	500,000円 (1件)	—	1,000,000 (2件)
	② 就職準備金	200,000円 (1件)	—	200,000円 (1件)	400,000 (2件)
	合計	1,200,000円 (3件)	500,000円 (1件)	200,000円 (1件)	1,400,000 (4件)

(5)出張相談（しごと・くらしサポートステーション）

しごと・くらしサポートステーション（バルブ永山）で毎月第1・3火曜日に出張相談を実施。（令和元年6月開始）

	R1年度
実施回数	20回
相談件数	4件

(6)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧を配布する。

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
支給件数	20件	19件	31件	111件	50件

※上表は貸付相談者や生活困窮者支援団体等に対して食糧を配布した件数

※令和元年度実績

◎食料品の寄付の受付（フードドライブ実績）

寄付件数：96 件

◎食料品の配布状況（フードバンク実績）

貸付相談者配布件数：19 件、生活困窮者支援団体への配布件数：31 件

14 収益事業の実施

一本杉公園、多摩東公園、資源化センター建物内、多摩市シルバー人材センター敷地内、福祉協力店（エリアティ、魚勇、新井歯科医院、K&K、チャットボックス、ポロン、高西寺）工事現場（西落合小学校改修工事現場、中沢都営住宅建設工事現場）に、自動販売機を設置し売上の一部が収益金となる。

単位：円

設置場所	業者	ロケーションマージン額				
		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
一本杉公園（2台）	西都ヤクルト販売(株)	694,324	598,780	655,284	791,636	630,449
多摩東公園（1台）		419,400	395,752	366,936	363,216	-
資源化センター（1台）		238,296	240,648	202,076	201,216	303,848
シルバー人材センター(1台)		48,888	37,588	43,000	30,924	-
エリアティ（1台）		-	-	2,915	25,365	23,530
魚勇（1台）		-	-	322	4,157	3,431
新井歯科医院（1台）	*	-	-	12,649	27,443	26,531
K&K（1台）	キリンビバレッジ(株)	-	-	75,159	181,476	111,310
チャットボックス（1台）		-	-	15,098	31,361	-
ポロン（1台）		-	-	1,120	15,207	13,988
高西寺（1台）		-	-	1,790	23,227	21,397
西落合小学校改修工事現場		-	-	-	64,237	74,387
中沢都営住宅建設工事現場		-	-	-	9,372	24,702
ジャパンビバレッジ		-	-	-	112	-
合計		1,400,908	1,272,768	1,376,349	1,768,949	1,219,079

*設置業者) コカ・コーラボトリング(株)

※ ロケーションマージン額：平成26年度より販売品売上単価の1%~40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本当たり1円~60円の収益がある。

※ 自動販売機の管理会社は、西都ヤクルト販売、コカ・コーラボトラーズジャパン、東京キリンビバレッジ

15 老人福祉センター事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目的	市内在住の満60歳以上の方に、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどの事業を実施するとともに、高齢者団体の活動を支援し、健康で明るい生活を過ごしていただく。
事業開始	平成9年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の満60歳以上の方（R2年3月末現在、50,469人）
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時</p> <p>●月曜日から土曜日[年末年始・日曜日・祝日・第2土曜日を除く日]の午前9時から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <p>●趣味、教養、健康増進などの教室・講座 陶芸 英会話 中国語 折り紙 書道 ペン字 料理 キーボード オカリナ 俳句 バルーンアート <u>ハングル語</u> パソコン らくらく運動 太極拳 健身気功 <u>ボディコンディショニング</u> 体幹ストレッチ、ヨガ 3B体操 リズムダンス 水中運動 等</p> <p>●行事等の開催 春の発表会 囲碁の日 カラオケの日 世代間交流事業 将棋大会 囲碁大会 南なん亭 映画の日等</p>

（2）契約状況等

区分	令和元年度		平成30年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成31年4月1日		平成30年4月1日	
概算契約金額	39,024,000円		38,647,000円	
契約変更年月日	令和2年1月10日		平成31年1月7日	
変更契約金額	36,800,000円		37,188,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	36,800,000	34,404,021	2,395,979	93.5	37,188,000	35,463,170	1,724,830	95.3
参加費収入	607,000	514,100	92,900	84.7	560,000	523,188	36,812	93.4
利用料収入	464,000	398,100	65,900	85.8	455,000	446,800	8,200	98.2
受取利息配当金収入	1,000	270	730	27.0	15,000	276	14,724	1.8
合計	37,872,000	35,316,491	2,555,509	93.3	38,218,000	36,433,434	1,784,566	95.3

③ 支出の状況

単位：円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	29,742,000	28,392,295	1,349,705	95.5	30,445,000	28,939,738	1,505,262	95.0
事業費	5,653,000	4,723,401	929,599	83.8	5,263,000	5,124,465	138,535	97.4
事務費	564,000	289,735	274,265	51.4	600,000	475,715	124,285	79.2
退職積立金	1,912,000	1,910,790	1,210	99.9	1,895,000	1,893,240	1,760	99.9
拠点区分間繰入金	1,000	270	730	27.0	15,000	276	14,724	1.8
合計	37,872,000	35,316,491	2,555,509	93.3	38,218,000	36,433,434	1,784,566	95.3

(4) 利用状況

① 令和元年度実績

単位：人

	令和元年度（平成30年度）							月別合計
	施設利用者	寿大学 (文化・教養)	寿大学 (健康推進)	その他事業	同好会活動	老人クラブ	相談業務	
4月	3,446 (3,444)	7 (0)	99 (25)	26 (47)	2,750 (2,836)	150 (176)	6 (15)	6,384 (6,543)
5月	3,132 (3,521)	441 (434)	388 (237)	22 (75)	2,153 (2,420)	188 (190)	6 (13)	6,330 (6,890)
6月	3,378 (3,681)	500 (480)	396 (233)	45 (60)	2,723 (2,738)	161 (162)	9 (12)	7,212 (7,366)
7月	3,417 (3,460)	497 (503)	337 (270)	72 (78)	2,611 (2,510)	136 (111)	5 (9)	7,075 (6,941)
8月	3,186 (3,660)	195 (178)	313 (255)	77 (112)	1,926 (2,014)	127 (177)	3 (7)	5,827 (6,403)

9月	2,935 (3,009)	413 (345)	234 (173)	198 (128)	2,487 (2,398)	91 (84)	5 (10)	6,363 (6,147)
10月	3,109 (3,626)	489 (520)	295 (313)	115 (226)	2,385 (2,510)	164 (142)	5 (3)	6,562 (7,340)
11月	3,176 (3,394)	531 (435)	329 (295)	44 (130)	2,523 (2,472)	333 (335)	10 (9)	6,946 (7,070)
12月	3,283 (3,293)	450 (308)	270 (213)	183 (161)	2,510 (2,399)	167 (131)	10 (7)	6,873 (6,512)
1月	3,107 (3,291)	357 (503)	240 (206)	78 (152)	2,231 (2,069)	145 (150)	5 (3)	6,163 (6,374)
2月	2,876 (3,316)	398 (328)	179 (185)	10 (2,421)	1,967 (1,984)	151 (247)	8 (7)	5,589 (8,488)
3月	0 (3,546)	0 (214)	0 (207)	0 (73)	0 (2,629)	18 (70)	0 (6)	18 (6,745)
事業別 合計	34,945 (41,241)	4,278 (4,248)	3,080 (2,612)	870 (3,663)	26,266 (28,979)	1,831 (1,975)	72 (101)	71,342 (82,819)

②過去5年間の状況

単位：人

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
施設利用者	49,615	49,381	41,548	41,241	34,945
寿大学（文化・教養）	3,887	3,329	3,704	4,248	4,278
寿大学（健康推進事業）	3,276	3,070	2,174	2,612	3,080
その他事業	2,736	3,022	3,297	3,663	870
同好会活動	29,828	29,330	29,004	28,979	26,266
老人クラブ	1,629	1,867	1,971	1,975	1,831
相談業務	50	55	292	101	72
合計	91,021	90,054	81,990	82,819	71,342

※平成29年度、浴室ろ過清掃で計12日間浴室と休憩室を閉鎖。その間の施設利用実績減。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度3月期の事業休止に伴い、施設利用、その他事業、同好会活動の実績減。

③令和元年度事業詳細

事業	内 容
寿大学	(1) 文化・教養 【通年】英会話入門、書道入門、キーボード（ピアノ）入門、中国語入門、初級ハングル(新規) 【前期】折り紙、バルーンアート

	<p>【後期】オカリナ、ペン字、俳句</p> <p>【前期・後期】料理（男性限定）、陶芸入門、</p> <p>【短期】パソコン講座、(初めてのパソコン、ワード・エクセル初級 他)</p> <p>【世代間交流事業】</p> <p> バルーンアート（参加者 11 人）、陶芸教室（参加者 21 人）</p> <p>【生活に役立つ講座】</p> <p> 特殊詐欺（参加者 12 人）</p> <p> フレイル予防について（参加者 57 人）</p> <p> 認知症サポーター養成講座（参加者 20 人）</p> <p> エンディングノート活用法（参加者 5 人）</p> <p> 認知症はじめて教室（全 3 回 参加者のべ 41 人）</p> <p> 社協の有償活動合同説明会（参加者 9 人）</p> <p>(2) 健康推進</p> <p>【前期】らくらく運動(自彊術)、太極拳、健身気功、体幹ストレッチ、ボディ コンディショニング(新規)</p> <p>【後期】3B体操、ヨガ、体幹ストレッチ、リズムダンス</p> <p>【短期】ハツラツ教室（水中運動・延べ 473 人が参加）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・囲碁の日（毎月第 3 月曜日・午後 1 時 15 分から 3 時 30 分） ・囲碁大会（参加者 27 人） ・映画の日（毎月第 1・3 火曜日・午後 1 時 30 分） ・バリアフリー映画上映会（10 月 来場者数 14 人） ※ 3 月の上映会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・カラオケの日（毎月第 1 金曜日・午前） ・おしゃべりサロン（毎月第 2 木曜日・午前） ・春の発表会（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ・将棋大会（参加者 24 人） ・ビリヤードの日（毎月第 3 金曜日・午後）
同好会	<p>63 団体（うち 1 団体新規）</p> <p>① 健康 20 団体（ダンス、体操、卓球、太極拳など）</p> <p>② 文化 43 団体（英会話、編み物、キーボード、カラオケ、パソコンなど）</p>

16 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

(1)概要

目的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の障害者手帳所持者(※)と家族、市内の障がい者団体 障害者手帳所持者数 7,078人 (身体4,221人 知的1,085人 精神1,772人) 令和2年3月末日現在
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など） ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・普及啓発事業（障がい者と共にひとときの和、講演講座など） ●高次脳機能障害者支援促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など

(2) 契約状況等

単位：円

	令和元年度				平成30年度			
区分	内容				内容			
契約年月日	平成31年4月1日				平成30年4月1日			
	地域活動支援センター				地域活動支援センター			
	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業		基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業	
契約金額	92,183,000	29,417,000	58,664,000	4,102,000	90,508,000	28,377,000	58,029,000	4,102,000
契約変更日	令和2年1月7日				平成31年1月15日			
変更契約金	89,283,000	28,217,000	56,964,000	4,102,000	87,308,000	27,377,000	55,829,000	4,102,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	令和元年度				平成30年度			
区分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	89,283,000	83,852,782	5,430,218	93.9	87,308,000	81,865,118	5,442,882	93.7
参加費収入	22,000	14,500	7,500	65.9	22,000	16,700	5,300	75.9
利用料収入	444,000	114,051	325,949	25.9	444,000	121,944	322,056	27.4
計画相談支援給付費	4,000,000	7,368,313	△3,368,313	184.2	4,000,000	6,509,964	△2,509,964	162.7
補助金収入	140,000	138,941	1,059	99.2				
合計	93,885,000	91,488,587	2,396,413	97.4	91,774,000	88,513,726	3,260,274	96.4

② 支出の状況

単位：円

	令和元年度				平成30年度			
区分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	73,842,000	70,837,572	3,004,428	95.9	72,428,000	70,343,245	2,084,755	97.1
事業費	13,166,000	10,857,498	2,308,502	82.4	13,039,000	9,682,289	3,356,711	74.2
事務費	1,983,000	1,547,007	435,993	78.0	1,943,000	1,616,883	326,117	83.2
固定資産取得	505,000	490,752	14,248	97.1				
退職積立金	2,689,000	2,687,445	1,555	99.9	2,664,000	2,661,345	2,655	99.9
拠点区分間繰入金	1,700,000	5,068,313	△3,368,313	298.1	1,700,000	4,209,964	△2,509,964	247.6
合計	93,885,000	91,488,587	2,396,413	96.4	91,774,000	88,513,726	3,260,274	96.4

(4) 利用登録状況

		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
登録人数		—	—	105人	121人	114人
	(内訳) 身体	143人	161人	72人	70人 (身体・知的重複4人含む)	64人 (身体・知的重複6人、 身体・精神重複3人含む)
	知的	25人	29人	12人	18人	22人 (知的・精神重複1人 含む)
	精神	17人	25人	4人	5人	9人
	手帳無	21人	41人	17人	32人	29人
		※H27-28年度は 登録延人数の内訳		※年度の登録人数の内訳		
登録延人数		200人	240人	273人	318人	352人
利用延人数		12,289人	13,442人	14,984人	5,460人	4,291人

※登録延人数・内訳ともに重複有

※登録人数・内訳ともに平成29年度より年度の登録人数に変更

(5) 実施状況 *新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2/28～一部事業の中止あり。

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

・パソコン教室 延べ35回開催 91人参加

コース	内容	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	参加 延人数
木曜コース 年3回 (各4回) 延べ12回	身体、精神障がい、視覚 障がい者を対象にレベル に応じて基礎から指導	5/9～30 14人 ワードで チラシ作成	7/4～25 16人 エクセル でカレンダー 作成	10/3～24 12人 ワードで 年賀状 作成	1/18～ 2/15 9人 エクセル でカレンダー 作成	69人
土曜コース 年3回 (各4回) 延べ12回		6/1～29 7人 ワードで チラシ作成		10/19～ 11/16 11人 ワードで 年賀状 作成		
視覚障がい コース 年3回 (各4回) 延12回	音声機能付きソフトで文 章作成やインターネット の操作方法等		9/5～26 6人 マイエディット の使い方	11/14～ 12/5 8人 ワードで 年賀状 作成	2/13～ 3/5 8人 ネットリ ーダーの 使い方 *3/5中 止	22人

・体操教室 延べ40回開催 435人参加

成人向け 体操教室 前期・後期 各10回 延20回	・ボール、タオルを使った椅子に座りながらの体操 ・身体、精神障がい者が参加し、無理なく身体を動かすことで機能の維持向上と交流を図る	前期 5月～9月 93人 第1四半期 37人 第2四半期 56人	後期 10月～2月 112人 第3四半期 72人 第4四半期 40人	205人
親子体操 教室 前期・後期 各10回 延20回	・心身の発達の気になる子どもと保護者がボールなどの道具を使い身体を動かしながら共に楽しむ ・4～7歳の子どもが参加	前期 5月～9月 123人 第1四半期 58人 第2四半期 65人	後期 10月～3月 107人 第3四半期 66人 第4四半期 41人	230人

・陶芸教室 延べ5回開催 4人参加

陶芸教室	・干支の置物、オリジナルの器の制作 ・身体、知的、精神障がい者が参加し、創作を楽しむながら、交流を図る	*11/11～12/9 作陶4回・作品渡し1回 ・干支(子)の置物とオリジナルの器作成	4人
------	--	---	----

② 在宅障がい者デイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

<p>・利用人数 6人：手帳所持者4人(身体4人、精神1人)手帳なし(難病)1人 新規利用者3人(R1.6月、12月、R1.1月開始) 利用終了者1人(R1.3.31終了)</p> <p>・開設日数 99日 延利用者数235人</p>			
内 容		延人数・回数	詳 細
基本事業 (訓練等)	機能訓練	P T (機能訓練)	174人74回延
		歩行訓練	21人12回延
		その他	3人2回延
	社会適応訓練	認知訓練	165人76回延
		O T (作業療法)	49人17回延
		S T (言語訓練)	12人6回延
		外出訓練	6人2回延
		脳トレ	28人12回延
		調理訓練	10人3回延
		個別訓練等	23人18回延
その他	18人9回延		
創作活動	作業(作品製作)	74人36回延	
	書画	34人12回延	
	その他	2人1回延	
ビデア テイク	カラオケ	24人9回延	
	ゲーム	22人11回延	

	その他	10人4回延	<第4四半期> 【社会適応訓練】 [調理訓練(1回)] ・お好み焼きと焼きそば(2/21) ・個別訓練就労体験継続 *新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月の園芸療法、3月の外出訓練、カラオケなどプログラム一部変更、中止
入浴	入浴サービス	16人16回延	
付属	給食サービス	217食92回延	
	送迎サービス	230人98回延	

③ 社会との交流の場の提供(同好会活動、カラオケの日、グループ活動)

事業名	実施日	参加延人数
同好会 憩書道	第1・3月曜日 *3/2・16中止	113人
カラオケの日	第4土曜日午前 *3/28中止	38人
言語訓練(個別・グループ) *失語症のある方を対象としたおしゃべりのグループ	水曜日 第1・3グループ 第2・4個別 *3/4・11・18・25中止	172人
グループ活動 マーブル *統合失調症を主診断とする方を対象	第4木曜日午後 *3/26中止	5人

【機能強化事業】

① 相談支援事業(一般相談) 電話、来所、訪問、その他による相談支援

相談内容：精神障がいの方から不安時の電話相談に対する傾聴。障害福祉サービスを利用していない方の継続的な支援。親なきあとの暮らしについての相談。関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
相談延人数 (新規継続含む)	207人	232人	273人	110人	851人(1,464人)
来所	31人	30人	50人	18人	129人(158人)
電話	124人	155人	168人	90人	537人(1,012人)
メール	24人	21人	20人	16人	81人(132人)
訪問	23人	23人	28人	14人	88人(111人)
同行	5人	3人	7人	1人	16人(51人)

※()は前年度

② 各種相談事業

相談会名	協力団体・内容	実施日	参加 延人数
パソコン相談会 *パソコンボランティア多摩	パソコン操作やトラブルに関する 個別相談 *3/3・10・17・24 中止	第1～4 火曜日	166 人
聞こえと補聴器の相談会 *共催 NPO 法人多摩市聴覚 障がい者情報活動センター	言語聴覚士による聴力検査、補聴器 や日常生活用具等に関する相談	年 3 回	31 人
親なきあと個別相談 *渡部行政書士事務所 代表 渡部 伸氏	親なきあとを心配している家族が 法制度やサービスの内容を相談す ることにより、子の将来の準備を行 う機会とする *3/18 中止	毎月第 3 水曜日	18 人
言葉のこと相談	言語聴覚士による言葉と嚙下に関 する個別相談 *3/4・11・18・25 中止	毎週水曜日	28 人
唐木田児童館言葉の相談 ほっとたいむ	来館の子どもと保護者に言語聴覚 士がコミュニケーションをとりな がら、言葉に関する心配事などを聞 く *4・5・8・3 月休み	毎月第 1 水曜日	8 人

③ 水浴事業

事業名	実施日	内容	参加 延人数	
水中機能訓練	火・木曜日 前期 各 22 回 (4～9 月) 後期 各 22 回 (10～3 月) *3/3・5・10・12・ 17 中止	水の特性を利用したリハビリや機 能維持・向上のための水中運動 *手帳所持者等 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、 変形性股(膝)関節症、パーキンソン病 等 ・送迎サービス有	465 人	
水中機能訓練 フォローアップ	1/30 全 1 回 午後	水中機能訓練修了者が、1 訓練(個 人貸出し) 移行後の再修正の機会 を設ける	5 人	
子ども水中運動 のびのびクラス	水曜日午後 ・1 期・2 期 各 6 回	水慣れを中心とした水中運動とレ クリエーション *主に発達障がいなど *対象は心身の発達が気になり、 一人でプールを利用できる 3 歳～ 小学 2 年生	64 人	
水浴訓練室貸出	個人 貸出	月・金曜日 午前/午後 *2/28、3/2・6・ 9・13・16 中止	主に水中機能訓練修了者を対象 とした自主訓練	613 人
	団体 貸出	土曜日 午前/午後 *3/7・21 中止	・団体登録 2 団体 身体・知的	77 人

④ 入浴サービス事業

事業名	実施延人数	その他
通所入浴サービス	277 人	福祉センター内施設での機械浴 ※送迎サービス有・デイ利用者含む 身体、知的
訪問入浴サービス	221 人	訪問入浴事業者への再委託により実施 身体、知的

⑤ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況 (月 1 回発行) ※老人福祉センター事業含む				
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所	
約 770 部	約 9,240 部/年	約 77 箇所	市内公共施設 (公民館、コミュニティセンター)、関係機関等	
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				
実施日	開催校	参加人数	内 容	参加協力団体
R1. 11. 12 実施	多摩第二小学校	全学年 529 人 * 各種体験 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者理解に関する話 (体の話、目の話、耳の話) 各種体験 	<ul style="list-style-type: none"> NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会/アートひまわり 多摩市視覚障がい者福祉協会 多摩市聴覚障害者協会 多摩市点字サークルトータス 多摩市手話サークルクローバー 男性ボランティア会議 トヨタ西東京カローラ(株) 社会福祉法人日本聴導犬協会 社会福祉法人大和会
R1. 11. 26 実施	貝取小学校	全学年 287 人 * 各種体験 4～6 年生	<ul style="list-style-type: none"> (車いす、手話、点字、福祉車輻) 聴導犬講話とデモンストレーション) 	
ウ) 講演会				
<ul style="list-style-type: none"> R1. 11. 30 多摩不登校・ひきこもり地域家族会 公開学習会 “生きづらさ” について知ってほしいいくつかのこと R1. 11. 30 中途難聴・難聴者のための地域コミュニケーション啓発講座 主催 認定NPO 法人東京都中途失聴・難聴者協会 共催 地域活動支援センターあんど			参加者 24 人 参加者 17 人	
エ) 障がい者スポーツ体験				
<ul style="list-style-type: none"> R1. 10. 20 福祉フェスタ 「サウンドテーブルテニス体験会」 「ボッチャ体験会」 *インクルスポーツクラブ多摩協力 			参加者約 50 人	

【高次脳機能障害者支援促進事業】

<p>①相談事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談人数・件数 新規相談者数：19人（本人・家族11人・関係機関8人） 相談延人数：直接相談（面接/訪問/同行）119人 電話等相談314人 計433人（前年度比－221人） 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険以外で利用できる障害サービス ・入院中のソーシャルワーカーより退院後の生活相談、社会資源の紹介 ・障害年金申請の支援他 ・土曜相談日の実施 毎月第1土曜日午後 ・医師によるケース検討会の実施 1回（リハ職員向け） 7事例を公開で相談。3医療機関からリハ職ら28名参加
<p>②関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者連絡会 第1回 R1.6/14 16団体26名 第2回 R1.9/6 18団体26名 第3回 HR1.3/13 開催予定がコロナウィルスの関係で中止 ・見学会 …多摩丘陵病院 6/5 関係機関から計13名 ・近隣家族会への訪問・連携 …小金井「いちごへ会」2名参加 八王子「はっちゃん」1名参加 ・症例検討会（主催：南多摩） 2/10 参加2名 ・市障害福祉課との打合せ 3回 ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加（毎月） ・家族会への参加（らーふの会・こだま）随時
<p>③社会資源の把握・開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの訪問・見学 ・在宅障がい者デイサービスでの受入れ 1名（見学2名） ・言語訓練（グループ・個別） 6名参加 ・グループ活動 「ほのぼの」 第1土曜日10時～14時9回開催（4月～2月まで） 7名参加 講師による音楽療法の後、ランチタイムや簡単なゲーム等により参加者の交流の場をもった。
<p>④広報・普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会 9/28「臨床心理士による当事者・家族への支援理解について」南多摩圏域5市家族会紹介と当事者、家族、支援者が少人数に分かれフリートークで交流。57名参加 ・福祉フェスタ 10/20 「世界のタイコをたたいてみよう！リズムでコミュニケーション」普及啓発と活動報告を兼ね、ほのぼのメンバーに6名と福祉フェスタ参加者合わせて35名参加 ・「No Plobrem」（脳損傷）in 南多摩 11/17（主催：南多摩）開催協力参加1名 ・社協広報誌への掲載（総合福祉センターだより 毎月） ・社協ホームページへの掲載 ・関係機関連絡会の参加者対象に、支援の強化のために学習会を開催。 「調布ドリームの取り組み」 R1.6/14 「高次脳機能障害のある方の就労支援」 R1.9/6 ・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出

【その他】

①ヘルプカードの配布

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターの一ま

社協（総合福祉センター3階・多摩ボランティア・市民活動支援センター）

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
身体障害	34人	27人	22人	24人	107人
知的障害	12人	12人	4人	8人	36人
精神障害	24人	30人	26人	35人	115人
難病	10人	7人	8人	1人	26人
高齢	2人	2人	1人	2人	7人
その他	15人	6人	9人	36人	66人
合計	97人	84人	70人	106人	357人

②普及啓発・協力事業

	事業名	実施日	内容
1	多摩中学校避難所宿泊訓練	R1. 6. 28	中学1年生の生徒に対し、車椅子体験・視覚障がい者疑似体験を行った。避難所における障がいの者のサポート方法を学んだ。
2	多摩不登校・ひきこもり地域家族会 定例会	R1. 4. 28 R1. 5. 25 R1. 6. 22 R1. 7. 27 R1. 8. 24 R1. 9. 28 R1. 10. 26 R1. 11. 30 R1. 12. 21 R2. 1. 21	ひきこもるわが子への対応について、家族会活動から考える。平成31年2月より活動開始。 運営協力：ピアカウンセラー 大橋 史信氏 心理カウンセラー 桜井 めい氏 *2/28・3/28 中止 *発足1周年記念イベント ひきこもり in 多摩 家族学部 父親学科 “不登校・ひきこもりと親父” 延期
3	福祉課訪問（多摩桜の丘学園主催）	R1. 7. 24	高等部3年生の生徒に対し、卒業後の支援機関として地域活動支援センターについての説明を行った。
4	多摩不登校・ひきこもり地域家族会「クリスマスイベント」	R1. 12. 28	日頃、孤独になりがちな家族を対象とし、レクリエーション・いたわりのワークなどで親睦を深め、心のリラクゼーションを図った。
5	多摩不登校・ひきこもり地域家族会「ヨガセラピー」	R2. 1. 25	日頃、孤独になりがちな家族を対象とし、心身のリラクゼーションを図った。

【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：169人（183）

相談形態：来所 338 件、電話 5669 件、訪問 1527 件、同行 230 件、メール 523 件のべ件数 8287 件

()は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
契約件数	0 (0)	1 (1)	1 (2)	0 (3)	1 (4)	0 (6)	3 (16)
計画作成数 (新規、モニタリング)	44 (34)	38 (28)	32 (26)	45 (45)	41 (31)	29 (32)	229 (164)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約件数	0 (4)	3 (3)	0 (3)	1 (2)	2 (2)	0 (2)	9 (33)
計画作成数 (新規、モニタリング)	37 (40)	40 (34)	38 (37)	53 (50)	50 (41)	35 (34)	482 (400)

17 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 ※多摩市における視覚障がい者267人（令和2年3月末現在） 内契約者39人(14.6%)（令和2年3月末現在）*新規契約者3人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数31人（令和2年3月末現在）*新規登録者6人

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	13,241,000	12,234,965	1,006,035	92.4	13,331,000	13,423,019	△92,019	100.6
利用料負担金	114,000	251,625	△137,625	220.7	112,000	200,271	△88,271	178.8
受取利息配当金	1,000	33	967	3.3	2,000	27	1973	1.3
合計	13,356,000	12,486,623	869,377	93.4	13,445,000	13,623,317	△178,317	101.3

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	3,358,000	3,142,426	215,574	93.5	3,338,000	3,156,530	181,470	94.5
事業費	9,308,000	7,369,440	1,938,560	79.1	9,407,000	7,857,575	1,549,425	84.4
事務費	69,000	489,459	200,541	70.9	700,000	530,407	169,593	75.7
合計	13,356,000	11,001,325	2,354,675	82.3	13,445,000	11,544,512	1,900,488	85.8

(3) 同行援護活動実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
契約者数 (うち身体介護有)	44人 (9人)	41人 (8人)	48人 (10人)	47人 —	39人 —
利用人数	353人	325人	331人	344人	315人

	(月平均 29.4人)	(月平均 27.1人)	(月平均 27.6人)	(月平均 28.7人)	(月平均 26.3人)
派遣回数	2,239回 (月平均 186.6回)	2,035回 (月平均 169.6回)	1,800回 (月平均 150回)	1,931回 (月平均 160.9回)	1,692回 (月平均 141回)
派遣時間	7,234時間 (月平均 602.8時間)	6598.5時間 (月平均 549.9時間)	6216.5時間 (月平均 518時間)	6393.5時間 (月平均 532.8時間)	5,604時間 (月平均 467時間)
活動者数	289人 (月平均 24.1人)	299人 (月平均 24.9人)	276人 (月平均 23人)	308人 (月平均 25.7人)	295人 (月平均 24.6)
同行援護登録従事者	30人	27人	29人	27人	31人

(4) 同行援護従事者研修会

開催日時 場 所	第1回 R1.11.7 第2回 R1.11.13 ※両日とも同内容 第1回 総合福祉センター4階 機能訓練室 第2階 総合福祉センター7階 705会議室
内 容 講 師	①同行援護の最新技術 ②高齢で歩行機能が低下している利用者への支援技術 ③最近起こった支援困難事例の紹介
参加者	第1回 8人、第2回 7人 計15人

(5) 同行援護従事者懇談会

開催日時 場 所	R2.2.20 総合福祉センター4階 機能訓練室
内 容	・最新の同行援護の現状について ・情報交換 ・令和2年度の登録申請について
参加者	計 10人

18 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。 ※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数424人（令和2年3月末現在）内利用登録者数115人（27.1%）
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	<ul style="list-style-type: none"> ① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国统一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数33人（令和2月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

区分	令和元年度		平成30年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成31年4月1日		平成30年4月1日	
概算契約金額	10,196,000円		10,176,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位:円

区分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	10,196,000	8,562,930	1,673,044	83.9	10,176,000	8,268,833	1,907,167	81.2
受取利息配当金収入	1,000	26	974	2.6	1,000	19	981	1.9
合計	10,197,000	8,562,956	1,674,018	83.9	10,177,000	8,268,852	1,908,148	81.2

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,262,000	4,114,880	147,120	96.5	4,227,000	4,006,647	220,353	94.7
事業費	5,211,000	3,894,861	1,356,139	74.1	5,220,000	3,731,940	1,488,060	71.4
事務費	723,000	553,215	169,785	76.5	729,000	530,246	198,754	72.7
拠点区分間繰入金	1,000	26	974	2.6	1,000	19	981	1.9
合計	10,197,000	8,562,982	1,674,018	83.9	10,177,000	8,268,852	1,908,148	81.2

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
利用登録者	104人	104人	122人	116人	115人
登録手話通訳者	36人	34人	32人	30人	33人
派遣件数(市・都)	1,160件	1,048件	1,104件	1,043人	1,051件
派遣時間(市)	1,692時間 59分	1,888時間 47分	1,819時間 34分	1,664時間 47分	1,761時間 9分
派遣者活動人数(市)	241人	246人	259人	261人	264人

(5) 手話通訳者研修会

① 外部講師による研修会(全5回) 参加延人数87人

講師：東京手話通訳等派遣センター、東京都手話通訳問題研究会

内容：講義/通訳制度の現状、スーパービジョン、場面通訳(医療2回)、読み取り

② その他研修会(全6回) 参加延人数104人

内容：ろう者の手話読み取り、場面通訳(会議・講演会)

事例検討(3回)

19 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記者を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記者に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	<p>① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。</p> <p>② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。</p> <p>③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者</p> <p>④ その他市長が特に認めた者。</p> <p>※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数424人（令和2年3月末現在）内利用登録者数115人（27.1%）</p>
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	<p>①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。</p> <p>※登録者数24人（令和2年3月末現在）</p> <p>②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者</p> <p>※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。</p>

(2) 契約状況等

単位：円

区 分	令和元年度		平成30年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成31年4月1日		平成30年4月1日	
概算契約金額	1,432,000		1,426,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	1,432,000	826,026	605,974	57.6	1,426,000	917,877	508,123	64.3

② 支出の状況

単位:円

区 分	令和元年度				平成30年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
事業費	1,345,000	743,254	601,746	55.2	1,339,000	835,107	503,893	62.3
事務費	87,000	82,772	4,228	95.1	87,000	82,770	4,230	95.1
合計	1,432,000	826,026	605,974	57.6	1,426,000	917,877	508,123	64.3

(4) 要約筆記者の活動実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
利用登録者	104人	104人	122人	116人	115人
登録要約筆記者	23人	24人	23人	26人	24人
派遣件数(市・都)	86件	80件	74件	60件	48件
のべ派遣時間(市)	627時間 52分	738時間 12分	708時間 17分	571時間 55分	490時間 20分
のべ派遣活動人数(市)	121人	118人	147人	120人	113人

(5) 要約筆記者研修会

- ① 外部講師による研修会(全2回) 参加延人数25人

講師:東京手話通訳等派遣センター

内容:技術研修~全体投影等、講義・論旨のつかみ方、サブの役割

- ② その他研修会(全5回) 参加延人数40人

内容:ノートテイク演習、自主研修(技術研修)

20 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
街頭募金	527,612 (8 団体)	452,114 (16 団体)	361,506 (18 団体)	411,413 (23 団体)	383,504 (29 団体)
自治会・ 住宅管理組合	492,102 (37 団体)	508,588 (41 団体)	566,619 (57 団体)	470,036 (41 団体)	498,273 (43 団体)
職域募金	167,199 (14 団体)	139,469 (16 団体)	203,586 (39 団体)	181,629 (44 団体)	202,706 (44 団体)
募金箱	61,262 (31 団体)	57,309 (40 団体)	36,400 (20 団体)	33,597 (17 団体)	36,856 (19 団体)
プリペイドカードに よる募金	118,825 (15 団体)	132,232 (17 団体)	161,200 (17 団体)	120,900 (17 団体)	120,760 (18 団体)
個人	2,479	0	13,290	6,820	1,057
チャリティお菓子			33,000	73,500	59,000
カキ串焼き・牛タン つくね				80,800	76,600
自動販売機			4,094	58,783	58,503
合 計	1,369,484	1,289,712	1,379,695	1,437,478	1,437,259

※()内は、協力等団体数

(2) 歳末たすけあい運動募金 (令和元年12月1日～12月31日まで)

単位：円

種別	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
街頭募金	296,032 (14 団体)	231,555 (9 団体)	286,512 (10 団体)	252,037 (14 団体)	203,609 (11 団体)
自治会・住宅管理組合	1,126,404 (77 団体)	964,845 (67 団体)	1,108,068 (103 団体)	1,036,995 (87 団体)	917,416 (80 団体)
法人(団体)募金	347,375 (15 団体)	320,397 (18 団体)	214,593 (12 団体)	171,363 (19 団体)	143,093 (14 団体)
個人募金	40,129	13,660	9,369	0	13,000
その他の募金	39,362	39,620	42,065	55,413	45,407
預金利息	46	56	2	2	2
チャリティーゴルフ				90,500	257,500
自動販売機			1,761	27,105	6,020
合 計	1,849,348	1,570,133	1,662,370	1,633,415	1,586,047
都共募納付額	1,741,023	1,496,383	1,582,644	1,571,478	1,519,251

※翌年配分金額					
---------	--	--	--	--	--

※（ ）内の団体数は、協力団体数。

2 1 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

②過去5年間の状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
貸出件数	57	87	79	86	95

平成30年度より、多摩社協窓口以外に市内社会福祉法人施設にて社協車椅子の管理・貸出を行っている。

(2) 被災地復興支援活動

①東日本大震災復興支援事業

「復興支援販売の実施」

宮城県石巻の(株)元気いしのまきより商品を購入し市内のイベントに復興支援販売として参加。販売による支援（価格に支援金を上乗せして販売し、売上額を送金している）と災害に対する普及啓発を継続して行った。

支援販売実施イベント

- ・4月7日(日) せいせき桜まつり
- ・5月3日(金)～5日(日) ガーデンシティ多摩センター子どもまつり 2019
- ・10月20日(日) 福祉フェスタ 2019
- ・10月26日(土)～27日(日) ハロウィン in 多摩センター2019

②八王子市災害ボランティアセンター職員派遣

台風19号の影響により被害を受けた八王子市に設置された、八王子市災害ボランティアセンターに職員を派遣した。

◎派遣期間：令和元年10月19日(土)から11月4日(月) 計17日間

※17日間のうち天候悪化により3日間中止

◎派遣人数：22名(正規職員19名、嘱託職員(ボランティアコーディネーター)3名)